



令和5年度 創業支援等事業計画機能強化事業にかかる 起業家教育事業 実施報告書

独立行政法人中小企業基盤整備機構創業・ベンチャー支援部
(委託事業者：株式会社ValuesFusion)

中小機構の起業家教育事業について	3
起業家教育プログラム実施支援(10校)意識調査(生徒)	7
起業家教育プログラム実施支援(10校)意識調査(教員)	27
中小機構令和5年度起業家教育プログラム実施報告会	39
起業家教育出前授業実施支援(50校)意識調査(生徒)	52
起業家教育出前授業実施支援(50校)意識調査(教員)	64

中小機構の起業家教育事業について

中小機構では、学校側の目的やニーズに応じて、以下の2つのメニューを準備している。

■ 起業家教育プログラム実施支援

年間を通じて行われる長期の支援メニューで、令和5年度は1年間を通じて最短で5時間、最長で32時間、起業家教育の導入に向けた支援を実施。具体的には、発想力や創造力、決断力などの育成や、ビジネスプラン作り、商品開発、販売戦略立案など、起業家としてのマインドや資質の育成につながる実践的で踏み込んだ内容となっている。

■ 起業家教育出前授業実施支援

中小機構から起業家等の講師を派遣し、1コマ(50-60分程度)の講義等を実施。主として、起業家が身近にいないという高校生が起業家と触れ合う機会を設けることで、「起業家」に対するイメージや理解を高めていただき、起業を身近に感じてもらうための施策。

対象：起業家教育標準的カリキュラム(*)を導入し、起業家教育に取り組む高等学校等。

(*起業家教育標準的カリキュラム)

<https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/kyouiku/download/curriculum01.pdf>

目的：起業家に必要とされるマインドと資質・能力を有する人材の育成。
起業家教育に取り組む高等学校等及び自治体、創業支援機関等の拡大。

提供内容：起業家教育標準的カリキュラム導入のためのサポート。
他校との接点、生徒のコミュニティ、社会との接点の提供。
年間5～32時間程度を活用し、起業家教育の導入を実施。

実施期間：令和5年5月～令和6年2月

支援数：10校

学校名：桜花学園高等学校／北九州市立高等学校／熊本マリスト学園高等学校／
佐野日本大学高等学校／静岡北高等学校／奈良県立商業高等学校／福井県立
鯖江高等学校／福島県立福島商業高等学校／三重県立四日市商業高等学校／
宮城県農業高等学校



国内大手玩具メーカーへのプレゼンテーション



株式会社ヌーラボ 橋本正徳社長 講演



コーヒープロジェクトでカフェ出展

対象：起業家を招いた講演・出前授業の実施を希望する高等学校等。
主に生徒等を対象とする、起業家教育・創業機運醸成に関する講演・出前授業の実施を希望する自治体・創業支援機関等。

目的：起業家に必要とされるマインドと資質・能力を有する人材の育成。
起業家教育に取り組む高等学校等及び自治体・創業支援機関等の拡大。

提供内容：・出前授業実施に向けた企画相談（1コマ 50-60分程度）
・起業家の紹介、派遣
・謝金の支払

実施期間：令和5年4月～令和6年2月

支援数：50校（先着順）

学校名：非公表



株式会社SPLYZA 土井寛之社長



株式会社POTETO Media 古井康介社長

起業家教育プログラム実施支援(10校)意識調査(生徒)

起業家教育プログラム実施支援(10校)意識調査について

令和5年度 起業家教育プログラム実施支援では、1校あたり年間5～32時間程度を活用し、下記10校へ支援を実施した。
※各校ごとの詳細な取組みについては、「令和5年度起業家教育プログラム導入支援事例集」(*)にて紹介。

(*令和5年度起業家教育プログラム導入支援事例集)
<https://entrepreneur.smrj.go.jp/related/casestudies.pdf>



宮城県農業高等学校



福島商業高等学校



佐野日本大学高等学校



福井県立鯖江高等学校



静岡北高等学校



桜花学園高等学校



三重県立四日市商業高等学校



奈良県立商業高等学校



北九州市立高等学校



熊本マリスト学園中学校・高等学校

起業家教育プログラム実施支援(10校)意識調査(生徒)について

本事業における起業家教育プログラム実施支援(10校)意識調査は、プログラム実施校10校におけるインターネット調査に関して、その概要と調査結果について記述する。調査対象者の抽出にあたっては、対象生徒に対して506件の有効回答を回収した。アンケート調査のスクリーニング条件は、以下の通りである。

NO.	学校名	学年／対象生徒	有効回答数
1	宮城県農業高等学校	3年生10名／2年生8名／1年生3名	9名
2	福島県立福島商業高等学校	経営ビジネス科2年生80名	76名
3	佐野日本大学高等学校	特別進学コースαクラス 2年生20名	17名
4	北九州市立高等学校	課題研究R&D(3年生選択者80名) マーケティング (2年生情報ビジネス科120名)	185名
5	熊本マリスト学園中学校・高等学校	普通科高1・2年生及び中学生	6名
6	福井県立鯖江高等学校	普通科2年生6クラスから希望生徒30名	30名
7	静岡北高等学校	理数科2年生29名	29名
8	桜花学園高等学校	国際キャリアコース 2年生22名	19名
9	奈良県立商業高等学校	総合ビジネス科 3年生38名 部局たまつえ 12名	24名
10	三重県立四日市商業高等学校	商業科2年生195名、情報マネジメント科39名	111名
合計			506名

質問内容については、以下の通りである。

NO.	質問項目
1	学年(高等学校・高等専門学校)
2	性別
3	授業を受けた後の「創業・起業に対する関心の高まり」について教えてください。
4	授業前と比べて、起業に対する興味はいかがですか？
5	将来、起業してみたいと思うようになりましたか？
6	(「どちらともいえない」と回答した方) 将来のキャリアを考える上で起業はひとつの選択肢として考えられそうですか？
7	全体を通して授業の内容について理解できましたか？
8	授業時間はいかがでしたか？
9	今回の授業で良かったことは何ですか？(複数回答)
10	今回取組んだビジネスプランについて、続けて創業したいと思いますか？
11	今回の授業を通じて地域・社会課題・町おこし等学校外での取組についての関心は高まりましたか？
12	今回の授業を友人や同級生・後輩に勧めたいと思いますか？
13	授業を受けて、新しくモノやアイデアを生み出すチャレンジをしたいと思うようになりましたか？
14	授業を受けて、自分自身の意思や考えで何かを取組んでみたいと思うようになりましたか？
15	授業を受けて、自分の高校卒業後の進路選択に影響があったと思いますか？
16	「影響があった」と回答した方)：具体的に高校卒業後の進路選択にどのような影響がありましたか？ 次の設問の中から自分の気持ちに一番近いイメージについて教えてください。
17	授業を受けて、あなたの「起業」のイメージについてあてはまるものをお知らせください(複数回答)
18	授業を受けて、「起業家」のイメージとして、あてはまるものをお知らせください(複数回答)
19	授業を受けて、起業家・創業者を身近に感じたり親近感を感じますか？
20	現在、あなたの身の回りには起業家・創業者はいますか？
21	今回の授業を受けて身の回りの起業家・創業者を応援したり助けたいと感じますか？
22	起業家教育プログラムの授業を受けて全体的な感想、気づき、学び、実現したいアイデアなどの感想を自由をお願いします。

創業に関する意識調査

- 起業家教育プログラムを実施した高等学校10校(506名)の生徒の事後意識調査として、授業を受けた後の「**創業・起業に対する関心の高まり**」は**83.2%**へ変化した。事前調査(460名)の起業への興味は26.3%であった。**創業・起業に対する関心の高まりは 56.9%上昇した。**
- 将来のキャリアを考える上で起業はひとつの選択肢として考えられる生徒は72.0%、**100人中約72人の生徒が起業がキャリアの選択肢に入った。**事前調査(460名)のうち、起業がキャリアの選択肢に入る生徒が42.9%であった。**起業がキャリアの選択肢に入った生徒は 28.1%上昇した。**
- 将来、起業してみたいと思うようになった生徒は43.0%、**100人中約43人は起業をしてみたいと思えるようになった。**(とても起業してみたいと思う13.8%+やや起業してみたいと思う29.2%)事前調査(460名)の起業してみたいと思える生徒は22.9%であった。**将来、起業してみたいと思える生徒は 20.1%上昇した。**

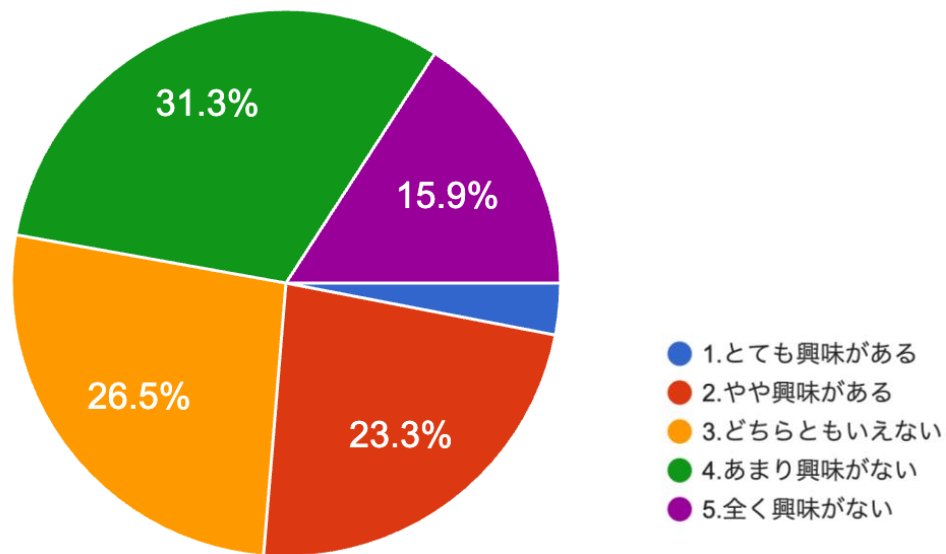
アントレプレナーシップ(起業家精神)に関する意識調査

- 起業家教育プログラムを受けて、新しくモノやアイデアを生み出すチャレンジをしたいと思うようになった生徒は74%、**100人中約74人が起業家精神を養うことが出来た。**事前調査(460名)の意識調査では、62.2%であった。**新しくモノやアイデアを生み出すチャレンジをしたいと思うようになった生徒は 11.8%上昇した。**
- 起業家教育プログラムを受けて、自分自身の意思や考えで何かに取り組んでみたいと思うようになった生徒は77%、**100人中約77人が自発的に何かに取り組んでみたいと思えるようになった。**事前調査(460名)の意識調査では、69.8%であった。**自分自身の意思や考えで何かに取り組んでみたいと思うようになった生徒は7.2%上昇した。**

起業家教育プログラムを実施した高等学校10校(506名)の生徒の事後意識調査として、授業を受けた後の「創業・起業に対する関心の高まり」は83.2%へ変化した。事前調査(460名)の起業への興味は26.3%であった。創業・起業に対する関心の高まりは56.7%上昇した。

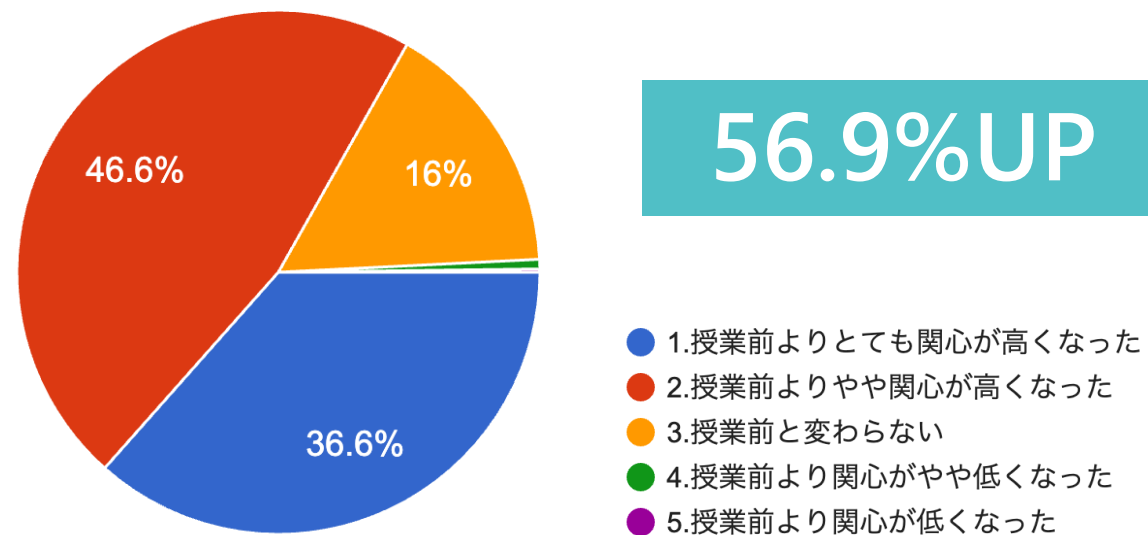
事前調査 (n=460)

授業を受ける前の「創業・起業に対する関心」



事後調査 (n=506)

授業を受けた後の「創業・起業に対する関心の高まり」

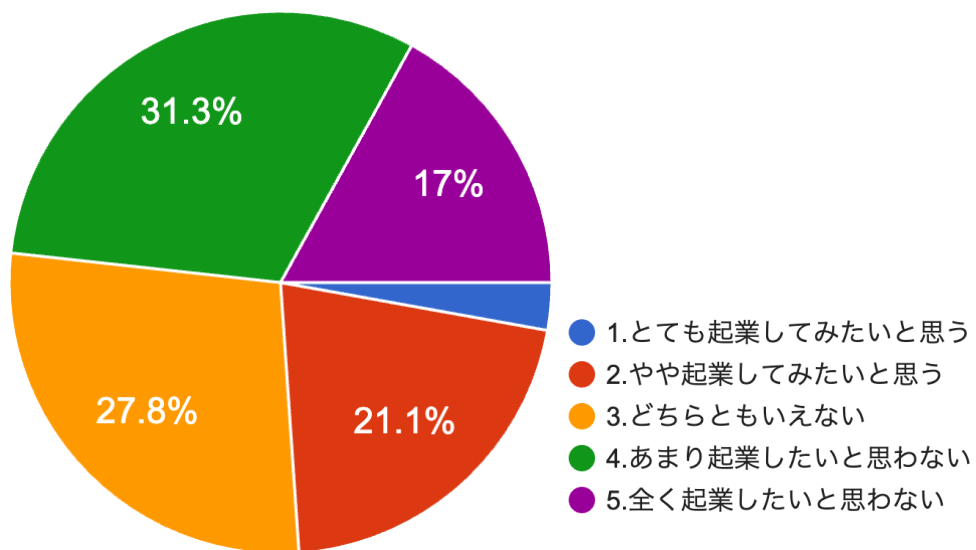


56.9%UP

将来、起業してみたいと思うようになった生徒は43.0%、**100人中約43人は起業してみたい**と思えるようになった。(とても起業してみたいと思う13.8%+やや起業してみたいと思う29.2%)事前調査(460名)の起業してみたいと思える生徒は22.9%であった。**将来、起業してみたいと思える生徒は20.1%上昇した。**

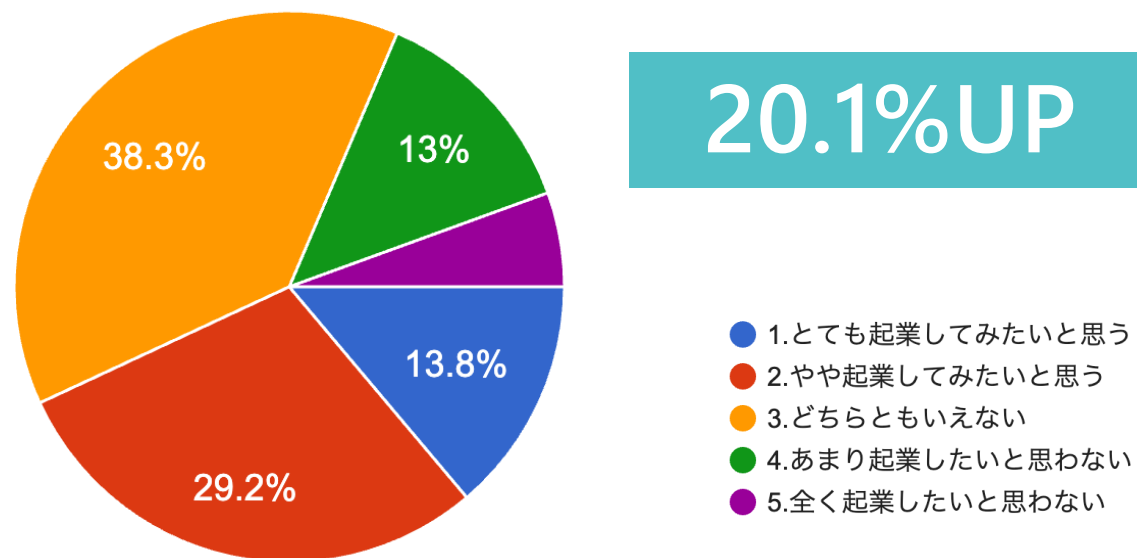
事前調査 (n = 460)

将来の起業の意向



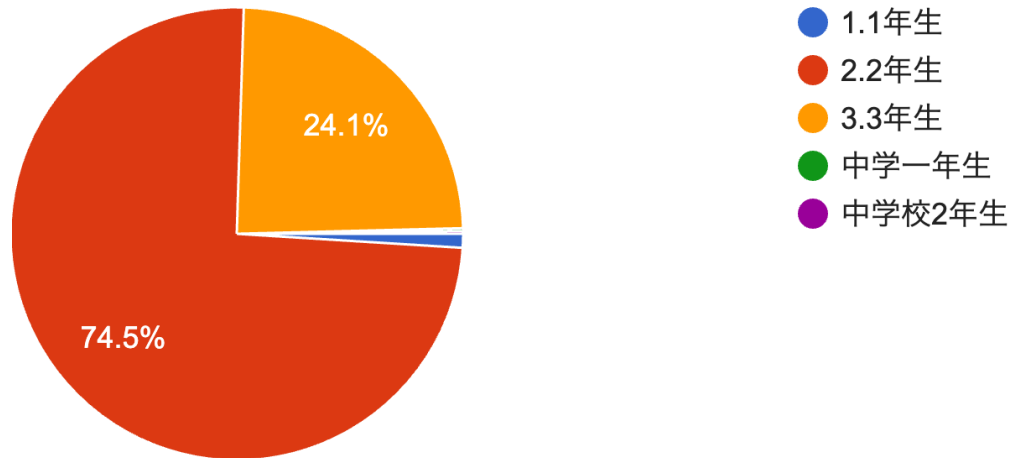
事後調査 (n = 506)

将来の起業の意向

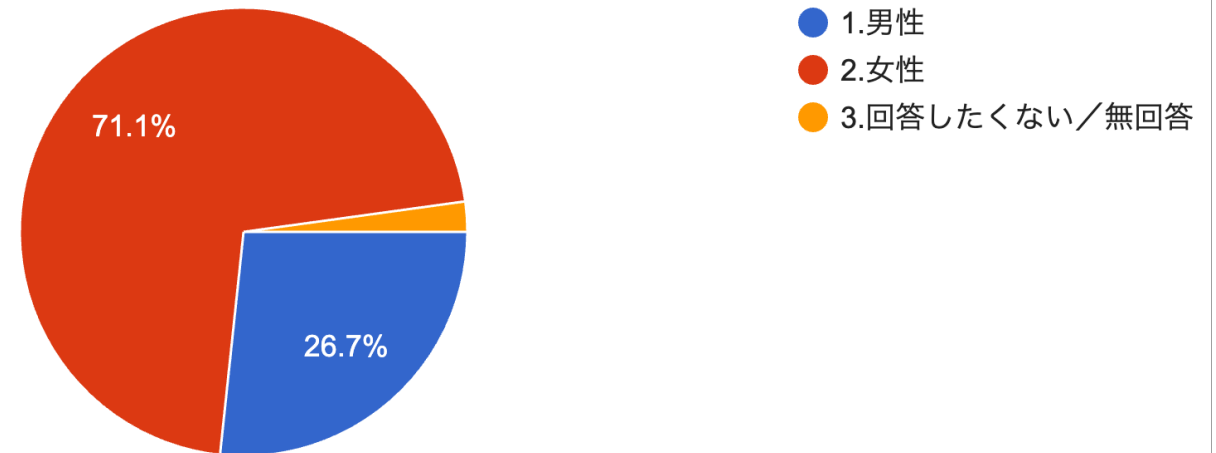


学年は、2年生(74.5%)、3年生(24.1%)、1年生(1%)、中学1.2年生(0.4%)と、2年生、3年生が98.0%の参加となった。
性別は、女性(71.1%)、男性(26.7%)、無回答(2.2%)と、女性の参加が多い傾向となった。

学年(高等学校・高等専門学校) (n = 506)

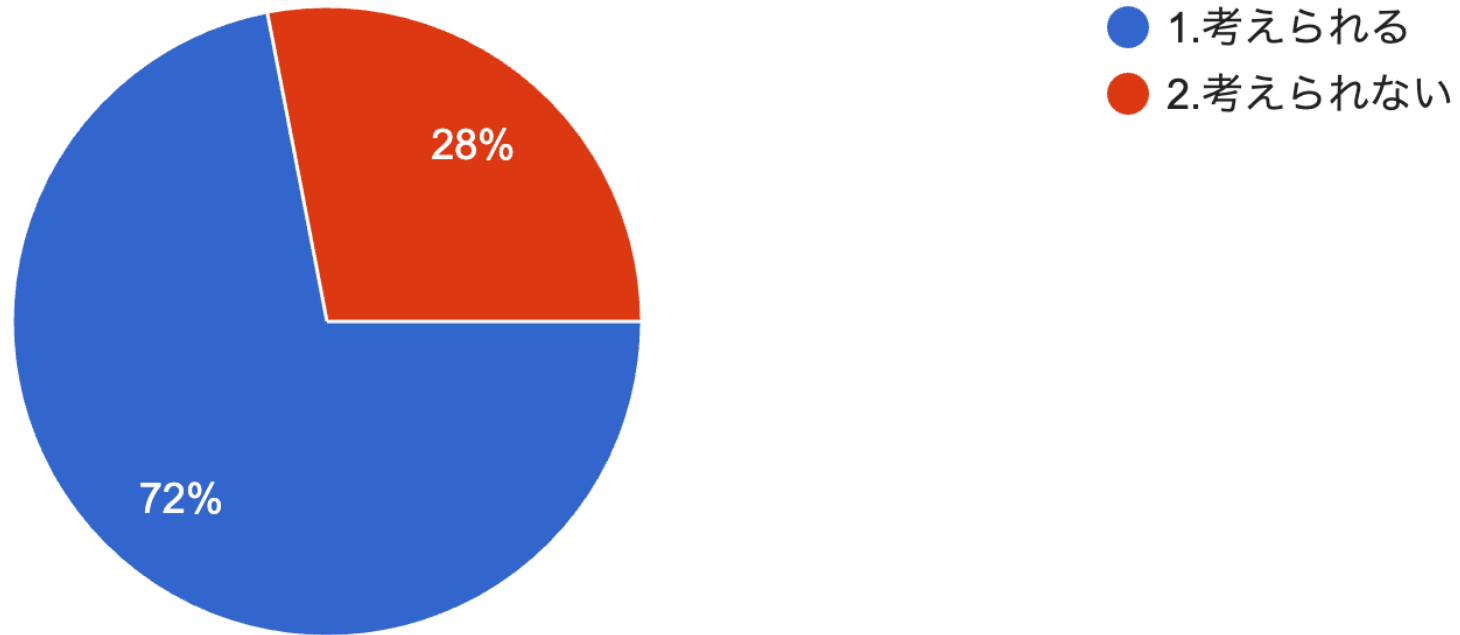


性別 (n = 506)



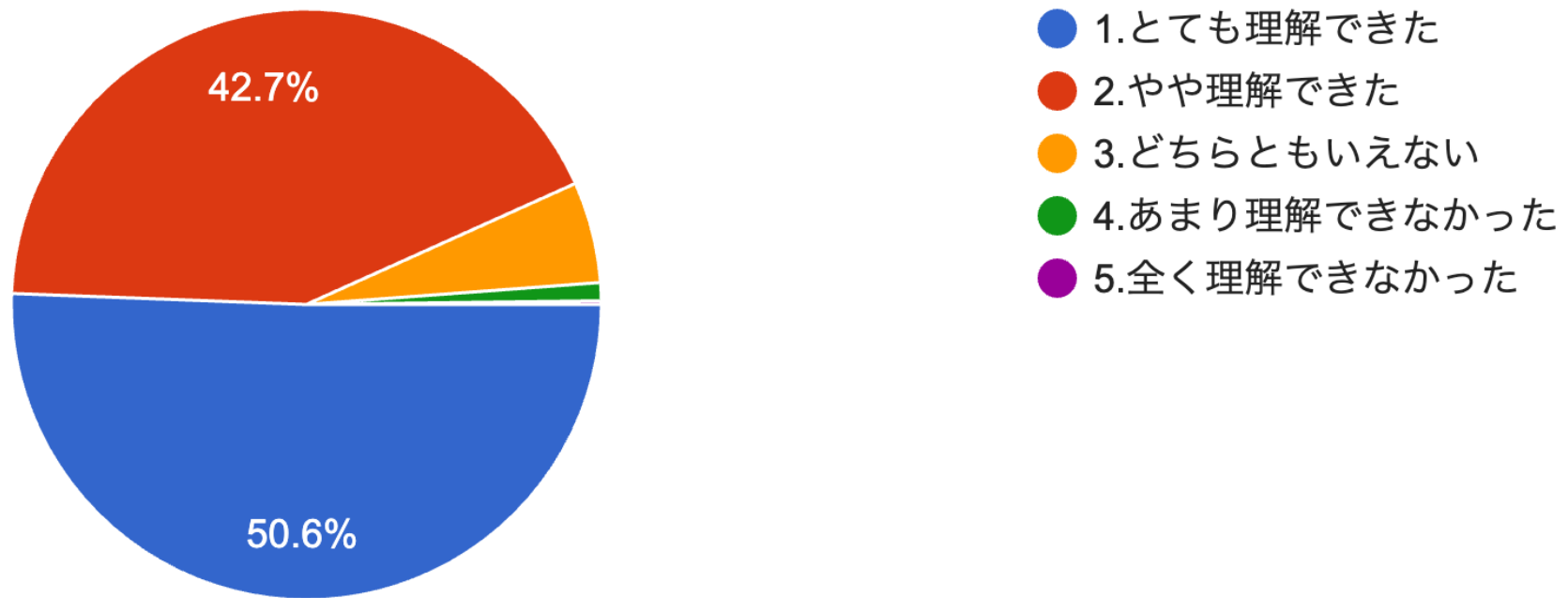
起業は将来のキャリアを考える上でひとつの選択肢として「考えられる」と回答した生徒が72.0%と10人中7人の生徒が将来のキャリアの選択肢に起業が入る結果となった。

起業は将来のキャリアを考える上でひとつの選択肢として考えられるか (n = 506)



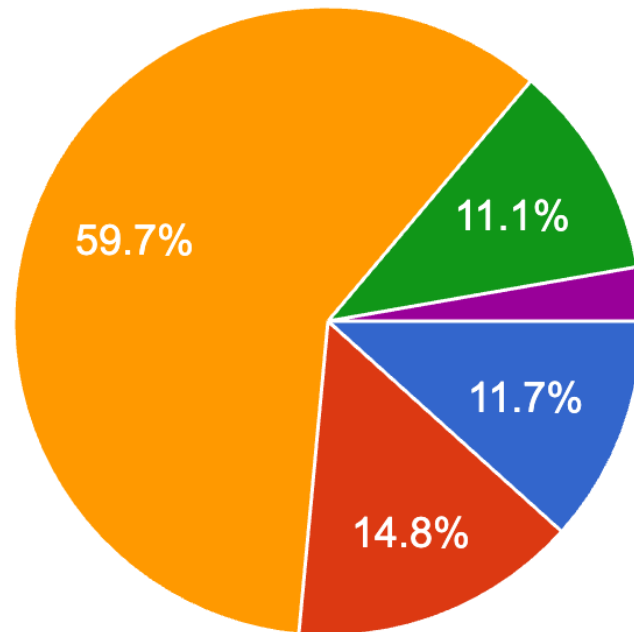
「とても理解できた」「理解できた」生徒が93.3%と、起業に関する理解ができた生徒が9割を超える結果となった。

起業に関する授業内容の理解度 (n = 506)



「ちょうどよかった」生徒が59.7%と、年間5～32時間が最適な生徒が約6割という結果となった。「短かった」「やや短かった」と思う生徒が26.5%と、もう少し長く取組みを行いたかったとポジティブな回答が得られた。

起業家教育プログラムの授業時間について (n = 506)



- 1.短かった
- 2.やや短かった
- 3.ちょうどよかった
- 4.どちらかといえば長かった
- 5.長かった

起業家教育プログラムの授業で良かったこと(複数回答可)

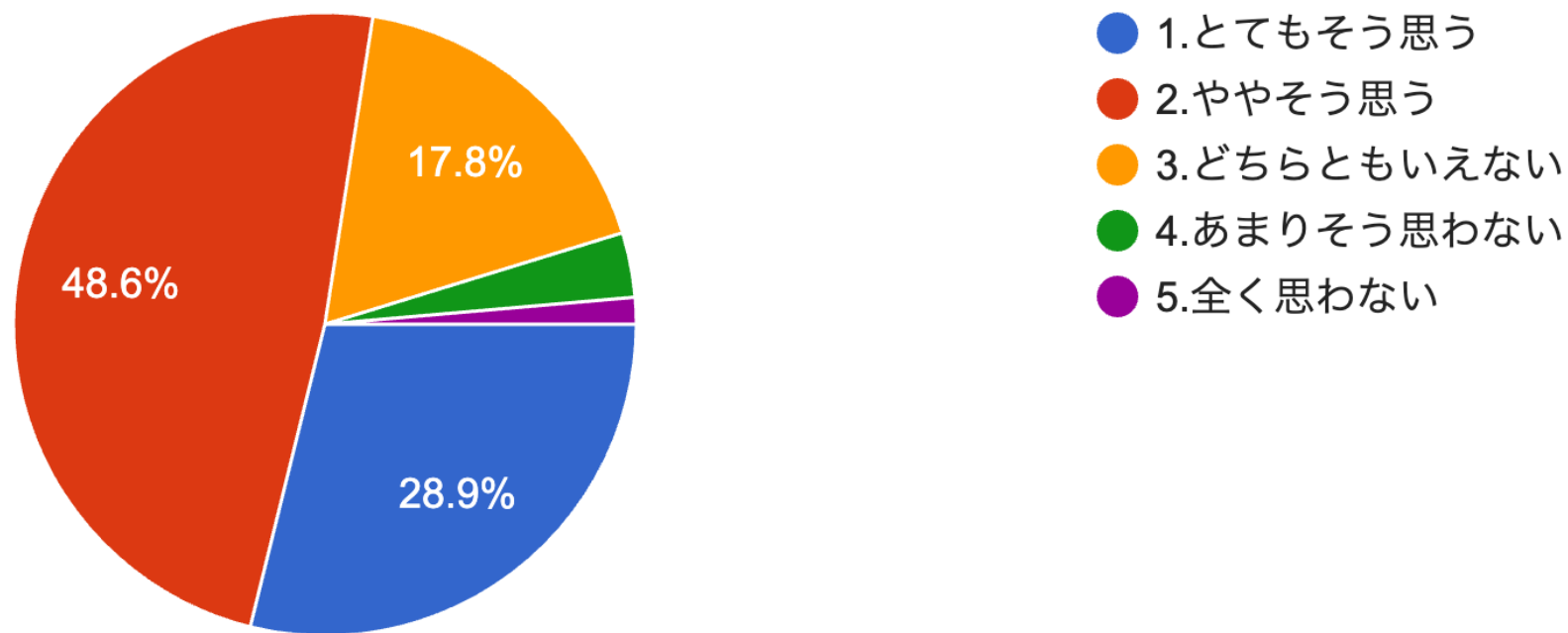
「起業についてのイメージがわいた」生徒が57.5%と、半数以上の生徒が起業のイメージを掴める結果となった。「起業家の体験談やストーリーが聞いた」「チームでのアイデア出しやディスカッションができた」「ビジネスプランの作り方を学べた」「地域の現状や課題を学べた」ことが良かったと思う生徒が3割を超えた。話を聞く以外に自分で行動をして良かったことも挙げられた。

起業家教育プログラムの授業で良かったこと (n = 506)



「とてもそう思う」「ややそう思う」生徒が77.5%と、7割以上の生徒が起業家教育プログラムを通して自分の住む街の課題解決や学校外の活動への関心が高まる結果となった。

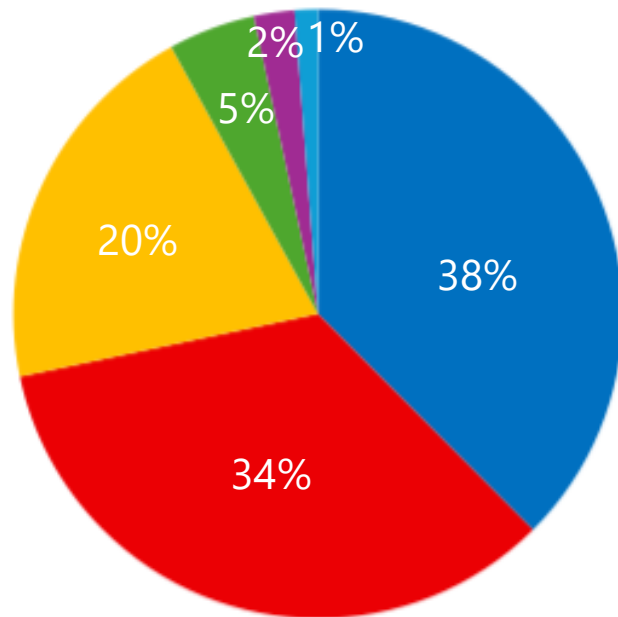
地域・社会課題・町おこし等学校外での取り組みについての関心について (n = 506)



高校卒業後の進路選択において影響があった項目

「高校卒業後、進学先の学部の選択が「起業」に関わるものになった」生徒が38%と学業において起業を視野に入れた学部の選択肢が生まれたことが伺える。また「高校卒業後、進学をし就職を経て「起業」を目指したい」生徒が34%、「高校卒業後、進学をし就職を経て「起業」を目指したい」生徒が20%と、2,3割以上の生徒は、高校卒業後に進学、就職を経て起業を目指したいと回答が得られた。

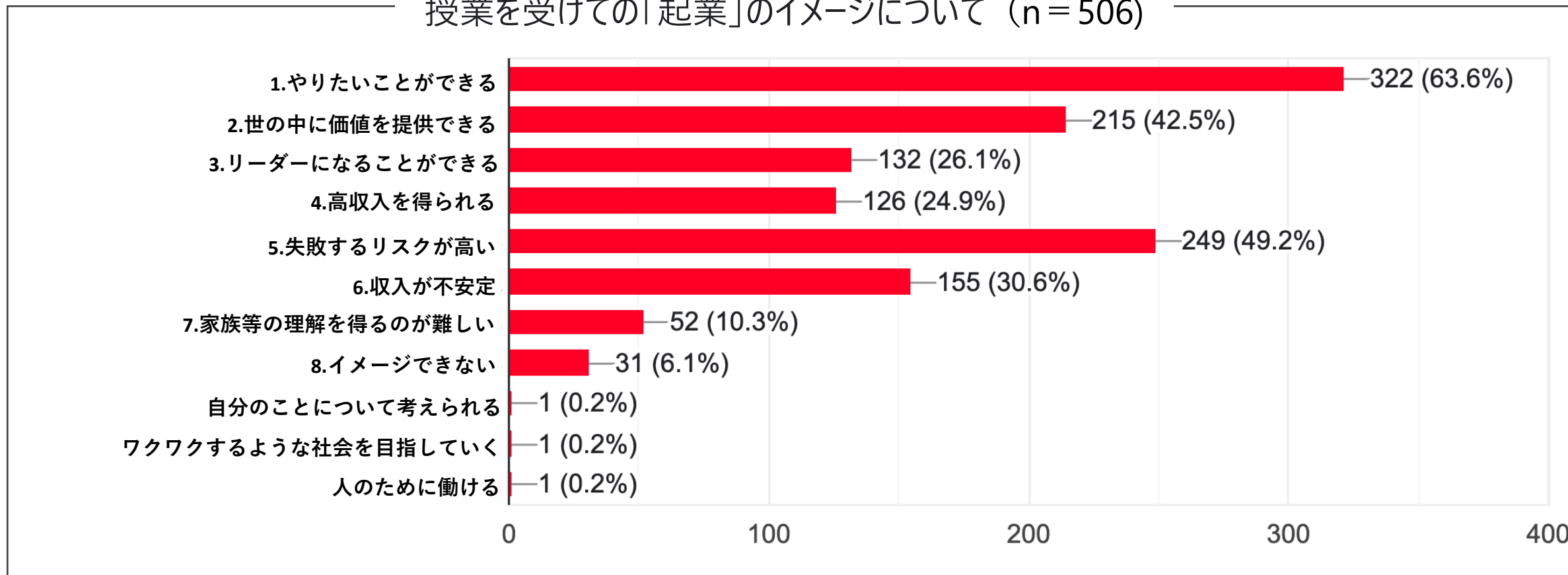
高校卒業後の進路選択において影響があった項目 (n = 325)



- 1. 高校卒業後、進学先の学部の選択が「起業」に関わるものになった
- 2. 高校卒業後、進学をし就職を経て「起業」を目指したい
- 5. 高校卒業後、就職を経て「起業」を目指したい
- 3. 高校卒業後、進学を経て就職せずに「起業」を目指したい
- 6. 高校卒業後、就職することをやめて「起業」を目指したい
- 4. 高校卒業後、進学することをやめて「起業」を目指したい

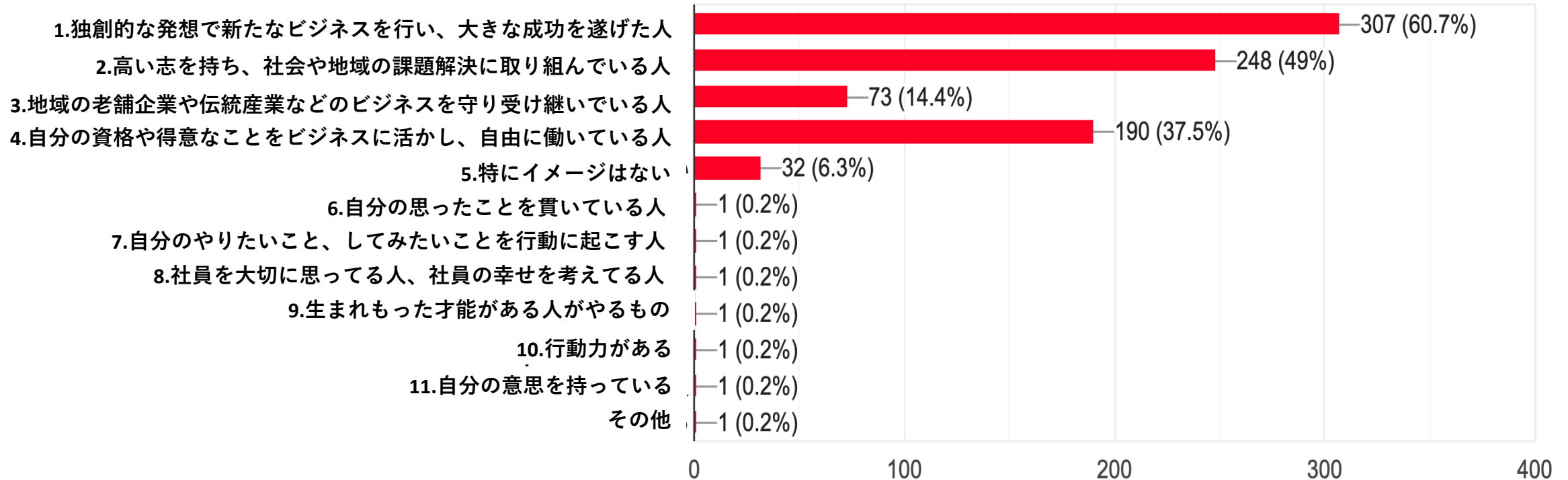
「やりたいことができる」と回答した生徒が63.6%と、自分のやりたいことに挑戦できる=起業というイメージが湧いた生徒が半数以上を超えた。「世の中に価値を提供できる」と回答した生徒が49.2%。一方で、「失敗するリスクが高い」と現実的な回答をした生徒も49.2%と、やりたいことができる一方で失敗のリスクもあるイメージにつながった。

授業を受けての「起業」のイメージについて (n = 506)



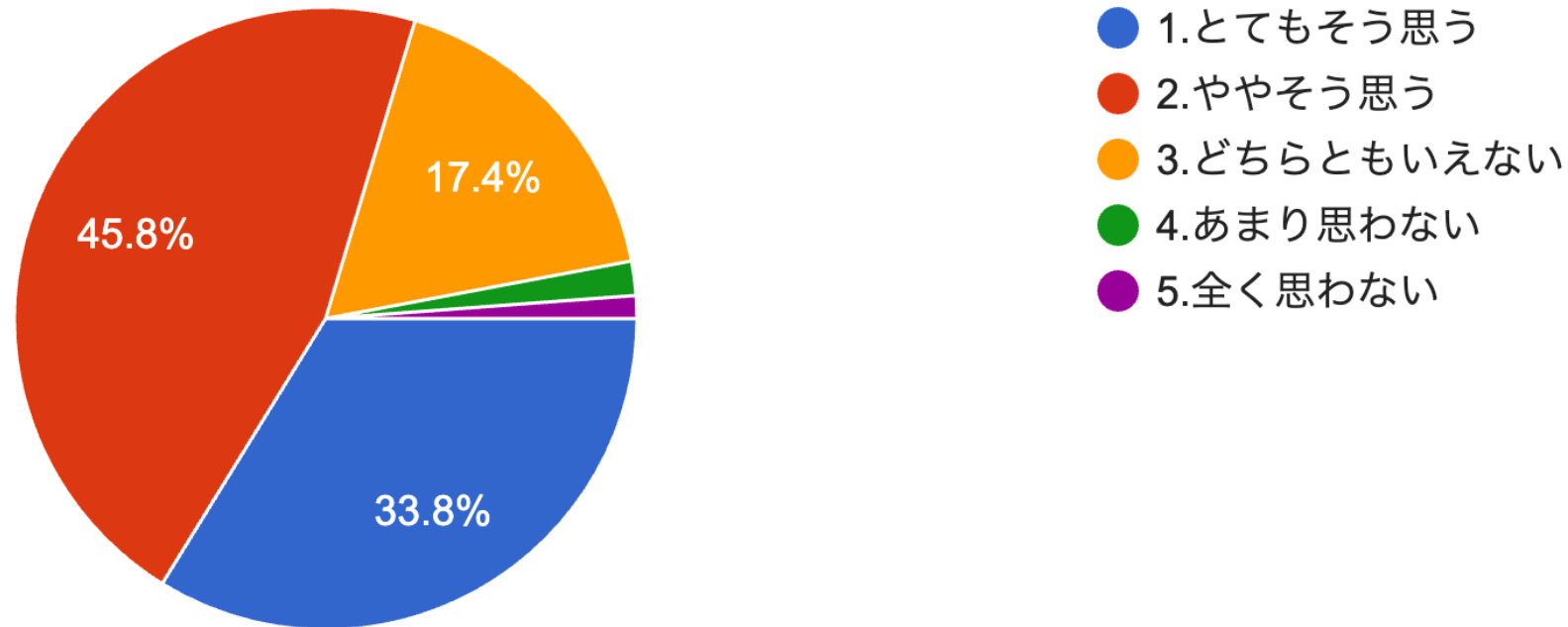
「独創的な発想で新たなビジネスを行い、大きな成功を遂げた人」と回答した生徒が60.7%と回答した生徒が半数以上を超えた。「高い志を持ち、社会や地域の課題解決に取り組んでいる人」と回答した生徒が49.0%。「自分の資格や得意なことをビジネスに活かし、自由な働き方をしている人」と回答した生徒が37.5%であった。

授業を受けての「起業家」のイメージについて (n = 506)



「とてもそう思う」「ややそう思う」生徒が79.6%と、約8割の生徒が、起業家の参謀(COO、CFO、CTO等)としての関わりや、投資家や応援者として、起業家・創業者を見るようになったという回答が得られた。

授業を受けて身の回りの起業家・創業者を応援したり助けたりしたいと思えるか
(n = 506)



起業家教育プログラムの授業を受けて全体的な感想、気づき、学び、実現したいアイデア(自由記述)

起業というのはギャンブルのようなイメージがあったので以前よりも良いイメージを持てるようになった。機会があったら起業してみてもいいと思った。

起業家についてのイメージが漠然としていて興味はあまり無かったけれど、ずっと住んでいる静岡について視点を起き、自分たちの手で活性化させようとする事でより身近に感じ、人の声を世界に反映させる力が有るものが企業家だと言うことが分かりました！

起業というのはギャンブルのようなイメージがあったので以前よりも良いイメージを持てるようになった。機会があったら起業してみてもいいと思った。

起業家についてのイメージが漠然としていて興味はあまり無かったけれど、ずっと住んでいる静岡について視点を起き、自分たちの手で活性化させようとする事でより身近に感じ、人の声を世界に反映させる力が有るものが企業家だと言うことが分かりました！

この5日間でやってきたことは、絶対に無駄にならないものだと思う。とても楽しかったし、実際の起業家の話を聞くことができとても参考になった。私たちのアイデアは実際に企業に売り込むことができると思うので、今日の発表を活かして実際に企業にプロモーションして行けるように調整したい。

普段、街や建物の中を歩いている時など物の見方が変わった。これってどうやっているのだろう。どういう仕組みなのだろう。こうしたらいいのではないかな。考えることが多くなり非常に勉強になった起業家育成プログラムになったなと思います。楽しかったです！

私の中で起業家する人は自分がしたいことをするだけかと思っていましたが、街ためやお店のために独創的な考えで案を提供してるんだなと思い、素敵なお仕事だと思いました。自分だけでなく、他の人の案を聞くことで考えが広がり、なるほどと思うことがたくさんありました。需要がありそうな物もあったので実現してほしいと思います。

私は自分でアイデアを出すことが苦手でこういう取組みはあまりできないと思っていたけど、自分の出したアイデアを肯定してもらったり、皆が出したアイデアを学べたりして、新しいことを考えるのは面白いなと感じました。自分のアイデアが採用される可能性があると思うと、授業に積極的に取組みました。班活動でも良いアイデアがたくさん出たし、自分も積極的に話し合いに参加できたので、良い経験になったと感じました。

私は、何か新しいアイデアを考えることが苦手なタイプなので、今回の取組みは正直、少し憂鬱でもありました。しかし、自分が考えたアイデアを持ち寄り、グループでディスカッションしてより良い提案を作り上げていく作業がとても楽しく、またやってみたいと思うことができました。お店の現状を知った上で、「どんな提案か」「ターゲットは誰か」「いつどこでやるのか」「コストはどのくらいかかるのか」「それに対する利益やメリットは何か」などをなるべく具体的に考えることで、プレゼンテーションした時に採用されやすい提案を作ることができるというのを、今回の学習を通して学びました。

起業家というものは、自分のやりたい事やアイデアを実現させる事ができるものだと言った。この授業を受けるまで、起業家は失敗する事が多く不安定なイメージしかなかったが、自分の夢を叶える事ができるものと捉えると素敵なお仕事だと感じた。

起業のアイデアは必ずしも独創的で斬新である必要はなく、どちらかというと周囲に価値を提供できるものを示すんだと気付きました。

思っていたより身近に様々な問題があることに気づき、起業することの難しさを感じると同時に楽しさもわかりました。将来誰かのためになるような企画やものを作り出せたらいいなと思いました。

起業家教育プログラムの授業を受けて全体的な感想、気づき、学び、実現したいアイデア(自由記述)

今回の授業を受けて、企画を考えることは楽しいけれど、お店や街を盛り上げられて実現可能なものを考えることはとても難しいと思いました。作りたいややってみないなどは出てきてもそれが現実的に実現可能であるかは調べてみなければわからないので企画などを考えるときに事前に調べることは大切だと思いました。

また企画などを考える機会があれば実現可能で費用対効果を考えられている企画のアイデアを出せるように今回の授業を活かして取組みたいです。

起業は楽しい！仕事をするのは楽しい！ということを熱く伝えられた授業でした！プレゼンをするのも初めての経験でとても楽しかったです！

起業することは特別な事だと思っていたけど実際はとても身近なことですぐにでも始めることができるものだというのをこのプログラムを通じて学ぶことが出来ました。

他の人の意見を聞いて楽しかった。その人がこんなにできるんだという意外性もあった。起業に少しずつ興味を持って、褒められてすごく嬉しかった。とてもいい機会になったなと思います。また、もう少し時間をかければもっといいのになんという反省点もあります。次ある時はみんなとゆっくり話し合ってみていきたいです。

今回の会を通して、起業することについてや自分の将来に関係させられるような考えを習得することができました。自分の将来を考える上で、今回のことを踏まえ、いろいろなことにチャレンジし、進路実現に向けて頑張っていこうと思うことができました。

今回の授業を受けて、様々なことを考えることができました。今までは起業かという子供の頃から志を持ってたすごい人たちがばかりだと思っていましたが、すごいひとたちにはかわりはないのですが、明確な志がなくても挑戦してみて上手くったり、誰かのためになりたいという思いで起業した人もいと知り、起業家に対してイメージが変わりました。自分でアイデアを考えてみてとても難しいし、誰かの意見のすり合わせをするということの大変さを知ることができました。

授業前は起業に対して難しいイメージを持っていたけど、授業後はあまり深く考えないで自分がやりたいことをとらえず挑戦してみる事が大切で、時には遊び心も取り入れて起業していくことも必要だということが分かりました。

チームで協力して、ひとつの事業を考え、具体的な事業内容を作成するために案を出し合い、良い発表をすることの難しさ、大変さ、楽しさ、大切さを感じられたと思う。今回いろんなチームのビジネスプランを聞き、社会に役に立てるような案が多くあり、すごいと思った。この経験は将来にも役立てると思ったので、授業として学生のうちにできてよかった。

地域の周りの課題など今まであまり気にした事がなかったけど、この授業を受けてそんなに大変でも一生懸命アイデアを出し、お店を支えてきたというお話を聞いて凄くと思いました。いざアイデアを出してと言われるとあまり出てこないけど、近鉄雑貨等のお店を見て回るときにこれがいいのではないかという風に出てくるので、そのような小さな気づき?が大切だなと思いました。自分で起業しようという勇気は今はまだ出ないけど、起業家さんはとても素敵な良い仕事だなと感じました。他のクラスの人のアイデアを聞いてとても良かったです。

今まで起業について程どお存在だと感じていたので、今回の授業を通して自分のやりたいこと、解決したいことを考えることから企業やビジネスについての一歩が踏み出せることを知れてよかったです。もし周りに起業する人が現れたらたくさん支援をしたいです。

どこからお金をもらって運用していくかが自分たちの中でも不明瞭だったのですが今日アドバイスをいただいたり、参考になるアプリを紹介していただいてイメージが湧いてきたので3月までに収入源という点をはっきりさせようと思いました。ありがとうございました。

起業家教育プログラムの授業を受けて全体的な感想、気づき、学び、実現したいアイデア(自由記述)

いろいろな起業家の方々の体験談を聞くことができ、私たちがこれから会社を立ち上げる上でのヒントがたくさんあったと感じた。会社のコンセプトや商品、サービスのプロデュースについて考えるためには何が必要なのかを知り、考え方を学ぶことができた。お客さんのニーズは何か想像力を働かせながら、これからの活動に取組んでいきたい。

私と起業家は特に縁のないものだとして考えていましたが今回の授業を通して将来の選択肢の1つとして起業をするという考えを作ることが出来ました。実際に起業するかはわかりませんがもし周りに起業をする人が現れたら多くの支援をしたいです。

初めは難しそうなイメージだったけど分かりやすく教えてくださって自分でも十分に理解出来てこんな選択肢があるということを知ることが出来た。

起業する人は先々のことを考えて見通して頭を常に使いながら周りとの協力していることを知った。物事に取組む時、先のこともしっかり考えてする大切さをより身近に感じた。

起業家たちはたくさん努力していてすごいと思いました。自分がしたいことを仕事にしていくというのはとても難しいけど、それを成し遂げられるというのがとてもすごいと思いました。

学歴関係なく興味があることに挑戦するべきだと感じた。

進路が決まる前にこの授業を受けてみたかったと思った。今後に生かせることを沢山学んだと思うので、生かしていきたいです。

就職と進学の実践に起業するというものが増えました。将来進学してそこで得たことで起業に繋がれたらいいと思いました。起業するのに社会に出てから経験した方が良かったことを知った。

自分が生きていく上で不便なことや欲しいものを起業家として創り上げて、社会に貢献したいと思いました。授業の前は起業家と聞くと頭がよくてお金持ちで自分とは程遠い存在だと思っていたけど身近に感じる小さな発見やひらめきから起業家になることができるのだと感じました。

起業した人たちは自分が疑問に思ったことや、もっとこうしたら世の中が良くなるのになという精神から起業しているのだということがわかりました。グループで案を出し合っ各々のアイデアを組み合わせるとより良いアイデアにすることは楽しかったです。起業を起こすのはこんな感じなのだと思いました。知る機会があれば調べてみようと思います。

起業に対してのイメージが講座を受ける前と後でがらりと変わりました。

自分がアイデアをなにか思いついたとしてももう実際にやっていたりコストがかかると新しい実現できるものと考えようとするのはとても難しいと感じました。物事をあらゆる視点から見ると新しいことを始め成功させる起業家は本当にすごいと思います。私もそんな発想ができるようにしていきたいです。

起業家教育プログラム実施支援(10校)意識調査(教員)

起業家教育プログラム実施支援(10校)意識調査(教員)について

本事業における起業家教育プログラム実施支援(10校)意識調査は、プログラム実施校10校におけるインターネット調査に関して、その概要と調査結果について記述する。調査対象者の抽出にあたっては、対象教員に対して10件の有効回答を回収した。アンケート調査のスクリーニング条件は、以下の通りである。

NO.	学校名	有効回答数
1	宮城県農業高等学校	1名
2	福島県立福島商業高等学校	1名
3	佐野日本大学高等学校	1名
4	北九州市立高等学校	1名
5	熊本マリスト学園高等学校	1名
6	福井県立鯖江高等学校	1名
7	静岡北高等学校	1名
8	桜花学園高等学校	1名
9	奈良県立商業高等学校	1名
10	三重県立四日市商業高等学校	1名
合計		10名

質問内容については、以下の通りである。

NO.	質問項目
1	今回のプログラムの役立ち度をお聞かせください。
2	今回のプログラム実施の目的・狙いをお聞かせください（複数回答可）
3	プログラムを実施して先生や学校にとって良かったことは何ですか？
4	プログラムを通じて生徒にとって良かったことや具体的な変化はどのようなことがありますか？
5	プログラム実施にあたって具体的に苦勞された点は何ですか？
6	プログラム実施にあたって必要な補助教材やサポート以外で追加して欲しい内容はありますか？
7	カリキュラムに追加したい内容やご要望はありますか？
8	起業家教育の継続的な実施をするにあたって課題となるのはどのようなこととお考えですか？
9	本取組を周囲の学校へ周知する機会がありましたか？
10	今後、本取組を高等学校へ広げていくにはどのようなところで周知するのが効果的と思われますか？
11	次年度も起業家教育を実施したいと思われませんか？
12	その理由をお聞かせください。
13	(「実施したい」と回答した方)：中小機構からの次年度以降の情報提供やサポート紹介を希望しますか？
14	最後に、事務局及び本事業へのご要望・改善点・ご感想・ご意見があればお聞かせください。

起業家教育プログラムにおける満足度

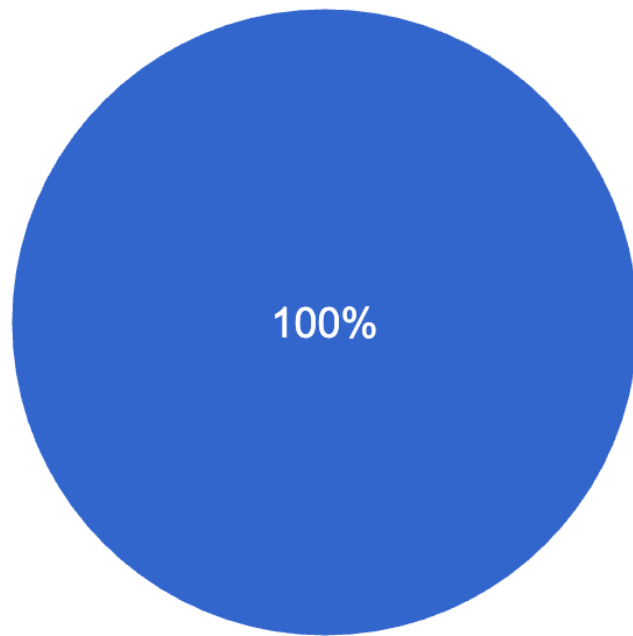
■ 起業家教育プログラムを実施した高等学校10校(教員10名)の事後調査として、授業を受けた後の満足度・役立ち度は100%、10校中10名の教員がとても役に立ったと回答した。

■ プログラム実施後、教員、学校にとって良かった点のコメントは下記の通り。

- ・生徒に可能性の場を提供してくれたこと。
- ・学校の学びで吸収できないことを学べたことです。
- ・生徒たちが自ら真剣に考え、協同して提案を作り上げることができた。
- ・生徒が主体的に考え活動するようになったこと。
- ・実際に起業家の方のお話を聞いたこと・起業までの流れや事務手続きについて理解できた。起業のアドバイスをいただけたこと。
- ・検定試験や教科書の学び以外の学習活動としてとても実践的な事例となったこと。
- ・生徒の創造性を垣間見れたこと。
- ・たくさんの起業家の方々と繋いでいただけたこと。
- ・たどたどしいながらも、ビジネスプランについて学び、プランづくりの経験を積むことができたこと。
起業家の講演を聴いて、その人の生き方やものの考え方に触れることができたこと。
- ・ビジネスプランコンテストに参加出来たこと

「とても役に立った」と回答した教員が100%という結果であった。

起業家教育プログラムの役立ち度 (n = 10)

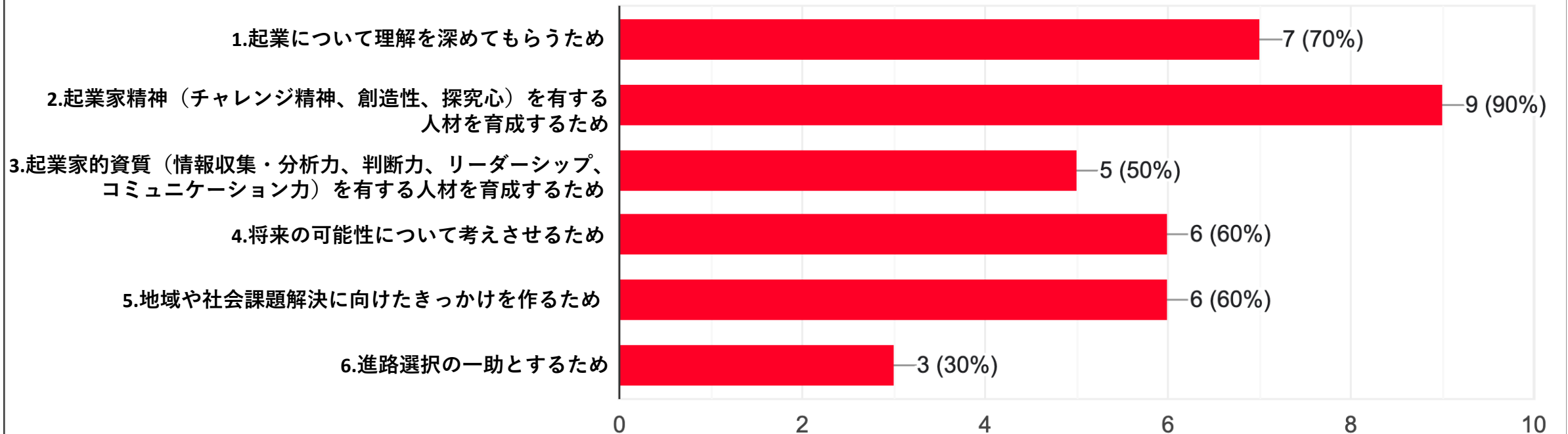


- 1.とても役に立った
- 2.やや役に立った
- 3.どちらでもない
- 4.あまり役に立たなかった
- 5.全く役に立たなかった

起業家教育プログラム実施の目的・狙い(複数回答可)

「起業家精神（チャレンジ精神、創造性、探究心）を有する人材を育成するため」と回答した教員が90%と、起業家のような人材になるためのマインドを養うための狙いが最も多い回答となった。「起業について理解を深めてもらうため」「将来の可能性について考えさせるため」「地域や社会課題解決に向けた取組みについてのきっかけを作るため」と将来の選択肢を増やすことも次点で狙いがあることがわかった。

起業家教育プログラム実施の目的・狙い（n=10）



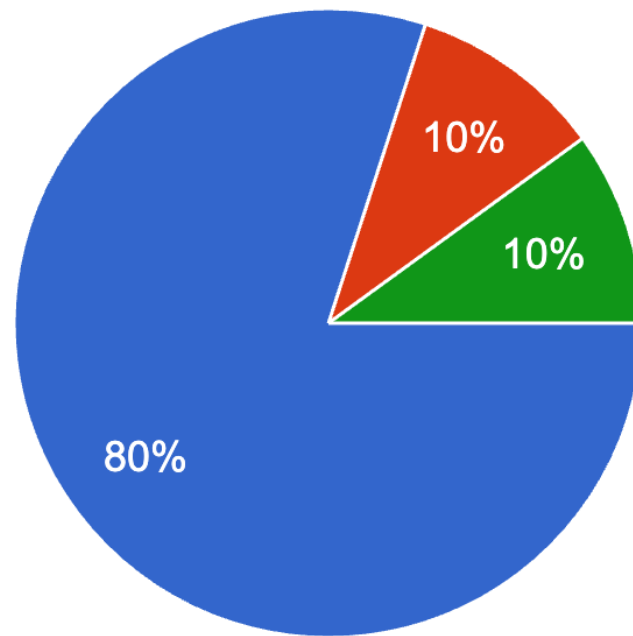
プログラムを通じた達成感からの自信、起業家になりたい生徒や、おとなしいと思っていた生徒がプロジェクトに主体的に関わろうとする回答が得られた。

起業家教育プログラムを通じて生徒にとって良かったことや具体的な変化 (n = 10)

- ・実践の場での緊張感・集中力・チームワーク。
- ・アントレプレナーシップが実践事例と出会いを通して深まったこと。
- ・大人たちが、自分たちの意見に耳を傾けてくれたことで達成感が生まれた。
- ・自分たちで一つのことを作り上げる喜びを感じてくれた。様々なことに積極的になった。
- ・起業家になりたいという生徒が出てきたこと、以前に比べてプロジェクトに主体的に関わろうとする生徒が出てきたこと。おとなしいと思っていた生徒が幹部に立候補するなど行動に変化が出てきたこと。
- ・一言で言うと生徒たちに自信がついたように思う。講話、対話、協働、表現などの様々な活動を経て、以前よりも経験値が大幅に上がっている。また感想を見ると起業家を目指す生徒や起業家に対するハードルが下がった生徒が多く見受けられた。
- ・他のLHRでもアイデアを出すときに自分の色が出始めてきました。本校設立60周年のキャッチコピーを考える際もありきたりなものではなく、自分を出していました。
- ・どんな課題でも、ビジネスで解決できるようになった。また、プレゼンの作り方が変わった。
- ・ビジネスフランづくりを経験して、「ターゲットは?」「誰の困りごと?」のような台詞が生徒の中から聞こえるようになったこと。友達と協力してプロジェクトに取り組むことの「楽しさ」と「苦しさ」を経験できたこと。
- ・ビジネスについて考えるキッカケになった。

「実施したい」と回答した教員が80%という回答が得られた。

次年度の起業家教育の実施意向 (n = 10)



- 1.実施したい
- 2.わからない
- 3.実施したくない
- 理由は次の質問で答えます。

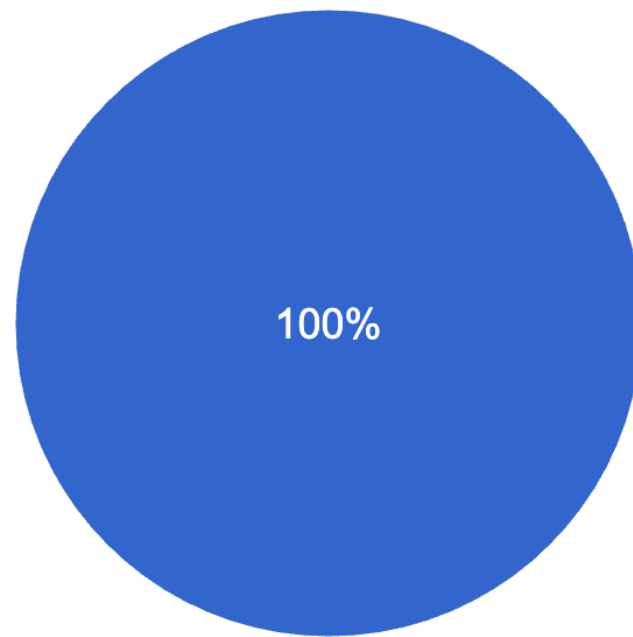
教員の知識・スキルの伸長、価値ある取組みである点、1年間では不十分である点、教員以外の外部の考え方を教えられるという回答が得られた。

次年度の起業家教育の実施意向の理由について (n = 10)

- ・教員の知識・スキルの伸長。
- ・これから生きていくために必要な力の一つだと考えるから。
- ・とても達成感のある取組みなので継続したい。
- ・講師派遣などとてもお世話になり効果的だったから。
- ・すごく良い影響が学内外にあったので、プロジェクトを拡大していくのに、引き続きサポートしていただくと助かります。
- ・生徒に自己肯定感を抱かせながら成功体験も積みやすく、人の役に立つという勉強本来の意味を意識させやすい。地方の学校ではどうしても成績重視の学校が多いため、勉強の目的が順位づけのためになり、勉強本来の意味を見失うだけでなく、生徒の自己有用感も下がってしまう。故に、学校の目玉となる活動にし、生徒の学習や進路に対する意識改革のきっかけにできればと思う。しかし、そのためには教員自身が継続するノウハウが必要。
- ・自分自身は、自分の興味で参加したものであって、また、現在の生徒の課題と起業家教育が噛み合うだろうと思って実施したため、これを他の先生がやるとなると、先にも述べた通り前提が必要になるので、今後の教育業界を中心に社会の動きを見て、何がいいのか選択していきたいと考えています。
- ・1年間では不十分。
- ・既に募集・応募、選考の時期を逸してしまっているので。「個人的には実施したいが実施できない」というのが正直なところ。当校における現在の「総合」の枠組みでは、なかなか難しいということを感じてました。
- ・教員以外の外部の考え方を教えてあげられるから。

「はい」と回答した教員が100%という回答が得られた。

中小機構からの次年度以降の情報提供やサポート紹介の希望度 (n = 10)



- 1.はい
- 2.いいえ

ご支援の御礼、情熱、有料でも良いくらいの内容、流行り物で終わらず継続して欲しいというポジティブな回答が得られた。

次年度の起業家教育の実施意向の理由について（n = 10）

- ・ご協力ありがとうございます。
- ・遠くから足を運んでいただき、講評もいただけてありがたかったです。
- ・一年間本当にありがとうございました。機構の方がとても熱心でこちらもやる気になりました。今後ともよろしく願います。
- ・今年度、本当にお世話になりました。授業以外の時間にもサポートいただき、また、カフェプロジェクトにも足を運んでいただいて、生徒も喜んでいました。引き続きよろしく願います。
- ・本当に多方面にわたり支援いただきました。感謝の気持ちしかありません。また、機会があればお願いできればと思います。
- ・本プログラムは有料でもいいくらいの内容だったと思います。その場合、かなりの額になり企画を通すのは困難になると思いますが、それこそ起業家教育の力を入れている組織ができればと思います。その際、人材が増えてきたときにどこまで統一感（熱量）があるのかは一番の課題だと思います。
一昔前に学校で流行ったアクティブラーニングのように、流行りものにならずにずっと続いていくプログラムになることを応援しています。
ありがとうございました。
- ・1年間、様々な角度からお世話・ご支援をいただき、ありがとうございました。次年度以降も、中小機構からの情報提供やサポート紹介を希望します。

中小機構 令和5年度起業家教育プログラム実施報告会

概要

- 日時 : 2024年2月11日(日)13:00~17:00
- 会場 : スタートアップインキュベーション施設「CIC TOKYO」
(東京都港区虎ノ門1丁目17-1 虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー15F)
- 進行内容 【第1部: 13:00~15:00】高校生11組プレゼンテーション・ワークショップ
【第2部: 15:00~17:00】起業家講演・交流会

■参加校

【起業家教育プログラム実施支援11校(うち日本政策金融公庫 高校生ビジネスプラン・グランプリ受賞1校)】
桜花学園高等学校／北九州市立高等学校／熊本マリスト学園中学校・高等学校／佐野日本
大学高等学校／静岡北高等学校／奈良県立商業高等学校／福井県立鯖江高等学校／福島
県立福島商業高等学校／三重県立四日市商業高等学校／宮城県農業高等学校／田園調布
学園中等部・高等部 [日本政策金融公庫 高校生ビジネスプラン・グランプリ受賞校]

【第2部起業家講演ゲスト】

ユニファ 株式会社 代表取締役 CEO 土岐 泰之様
株式会社 ALE 代表取締役 CEO 岡島 礼奈様

■主催

独立行政法人中小企業基盤整備機構

■運営

株式会社ValuesFusion



本事業における取組みの集大成として、2024年2月11日（日）にスタートアップインキュベーション施設「CIC TOKYO」にて「起業家教育プログラム実施報告会」が開催。全国から10校 + 日本政策金融公庫ビジネスグランプリ受賞1校の合計11校が参加し、ビジネスアイデアや起業家教育プログラムの取組みについてプレゼンテーションを行った。

NO.	登壇校名	プレゼンテーションテーマ
1	静岡北高等学校	静岡をホビーの街に
2	福井県立鯖江高等学校	古町商店街を元気に
3	福島県立福島商業高等学校	食品ロス×地域創生 ～食を通して福島から笑顔を～
4	北九州市立高等学校	地域課題をビジネスで解決！ ～未来の起業家発掘プロジェクト～
5	三重県立四日市商業高等学校	四日市のバトン
6	佐野日本大学高等学校	自習場所提供支援サービス「スグ勉！」
7	奈良県立商業高等学校	未完成カフェ+ ～地域コミュニティの再生・異世代交流～
8	桜花学園高等学校	株式会社設立に向けて ～起業家プログラムから得たビジョン～
9	田園調布学園中等部・高等部	世界の女性を幸せにする「テック・ドミトリー」
10	熊本マリスト学園中学校・高等学校	シューカット 清涼レインコート
11	宮城県農業高等学校	#Jクレジット革命







創業に関する意識調査

起業家教育プログラム報告会に参加した高等学校10校(20名)の事後調査として、
起業家講演・交流後の「**創業・起業に対する興味の高まり**」は**100%**へ変化した。

起業家教育プログラム実施報告会における満足度

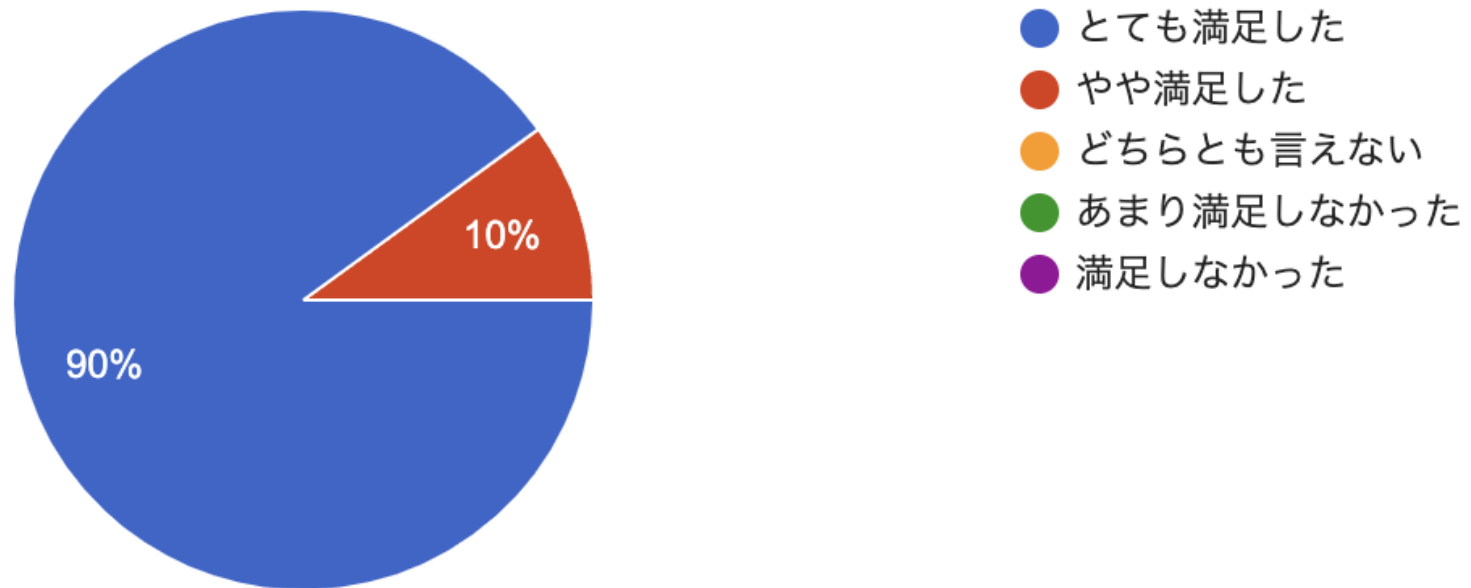
- アンケート結果より、起業家教育プログラム実施報告会の**満足度は100%**。
- 報告会を実施後、生徒にとって良かった点のコメントを記述する。
 - ・全国から集まった同世代のプレゼンを聞いて、とても楽しかったです！
またこの先のビジネスプランの進化を是非聞きたいのでまた開催してくれると嬉しいです。
 - ・他校との意見交換で多くの学ぶことがあったので改善していきたいです！
 - ・同じ高校生であっても考えていること大事にしていることに大きな違いがあり、実行している人もいて大きな刺激になりました。
 - ・自分達のプレゼンの改良点、そして他校のプレゼンを聞いてアプローチの仕方が色々あることが知れました。
起業に限らず周りを見る視点を持つという観点でも力を付けることが出来るいい機会になりました！
 - ・実際に起業家の方のお話を聞けたこと・起業までの流れや事務手続きについて理解できた。起業のアドバイスをいただけたこと。
 - ・日本の中でこれだけの人々が起業について関わっていて交流する機会があるのはとても良いことだなと思いました。
より色々な人の意見やプランを聞きたいなと思いました
 - ・他校との意見交換の機会で私たちでは思いつかない意見を貰えたので今後の活動で参考にしていきたいです。

本事業における起業家教育プログラム実施報告会(10校)生徒事後アンケート調査は、起業家教育プログラム実施報告会(10校)におけるインターネット調査に関して、その概要と調査結果について記述する。調査対象者の抽出にあたっては、対象生徒に対して20件の有効回答を回収した。アンケート調査のスクリーニング条件は、以下の通りである。

NO.	学校名	有効回答数
1	宮城県農業高等学校	1名
2	福島県立福島商業高等学校	2名
3	佐野日本大学高等学校	2名
4	北九州市立高等学校	2名
5	熊本マリスト学園高等学校	2名
6	福井県立鯖江高等学校	2名
7	静岡北高等学校	3名
8	桜花学園高等学校	2名
9	奈良県立商業高等学校	2名
10	三重県立四日市商業高等学校	2名
合計		20名

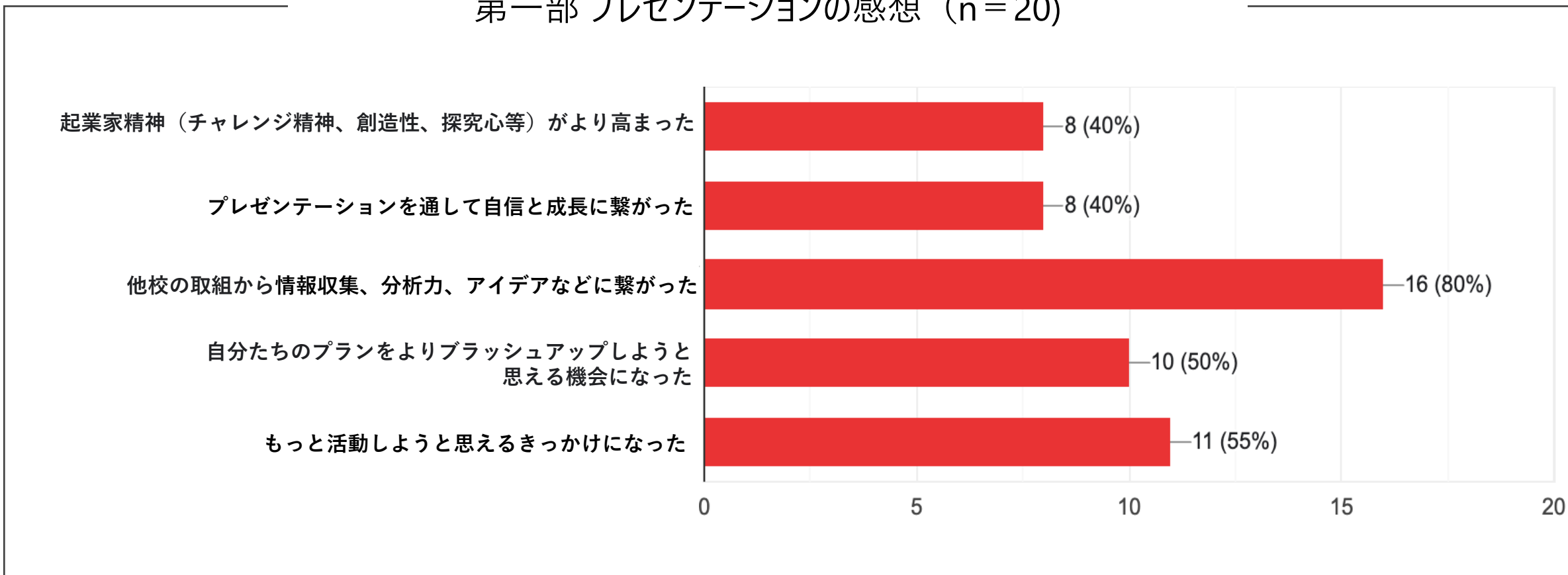
「とても満足した」生徒が90.0%、「満足した」生徒10.0%を含めると全員が報告会に対して満足の結果となった。

起業家教育プログラム報告会の満足度 (n = 20)



参加生徒80.0%が「他校の取組みについて理解を深めることで、情報収集、分析力、アイデアなどに繋がった」と回答。次いで、「もっと活動しようと思えるきっかけになった」が55.0%、「自分たちのプランをよりブラッシュアップしようと思える機会になった」が50.0%の回答であった。

第一部 プレゼンテーションの感想（n = 20）



「他校の取組みについて理解を深めることで、情報収集、分析力、アイデアなどに繋がった」と回答した生徒が70.0%と、他校との交流が自身の取組みのブラッシュアップに繋がっていることが伺える。次いで、「アドバイスを得て、今後の活動に活かしていこうと思えるきっかけになった」と55.0%の回答が得られた。

第一部 ワークショップの感想（n = 20）

起業家精神（チャレンジ精神、創造性、探究心等）がより高まった

7 (35%)

ワークショップを通じて、他校との交流が深まった

10 (50%)

他校の取組から情報収集、分析力、アイデアなどに繋がった

14 (70%)

自分たちのプランをよりブラッシュアップしようと思える機会になった

8 (40%)

アドバイスを得て、今後の活動に活かしていこうと思えるきっかけになった

11 (55%)

0

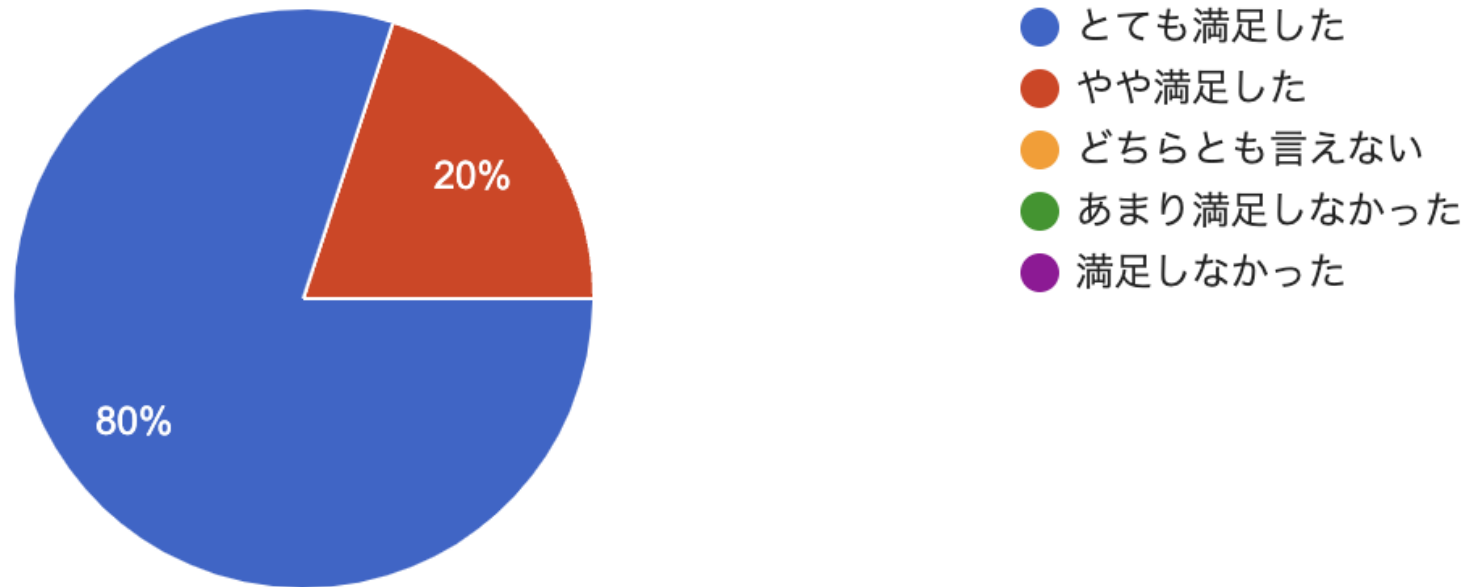
5

10

15

「とても満足した」生徒が80.0%、「満足した」生徒20.0%を含めると全員が土岐様、岡島様の講演、起業家との交流会に対して非常に高い満足度の回答が得られた。

第二部 起業家講演・交流会の満足度 (n = 20)



第二部 起業家講演・交流の感想（自由記述）

賢かったり特別でなくても、気持ちで動いてやりたいことを実現することが大切だと分かりました。

起業した本人からの話が聞けたり、直接質問できたり、自分の意欲を高める良い経験になった。自分が実現したいことをずっと貫き通し、同じ目標をもつ仲間を集めていくためには、意志の強さが一番大切だというお二人の言葉がとても印象に残った。今回学んだことを自分の取組みに活かしていけるように、今日学んだことを心に留めておきたい。

自分には0歳の弟がおり、保育にも自分が大好きな宇宙にも大変興味が湧きました。

実際に活躍されているお二人のお話を実際にお伺いできてとても充実した時間を過ごせました。

自分の心に嘘をつかずに全力で行動することで、成長したり学ぶことが多いと知りました。もっとプレゼン能力をあげ、提案を聞いて貰えるようにしたいです。

起業をする際や会社を継続していくためには熱量が重要になってくると学んだ。

探求の活動をする中で差別化の難しさを感じていたが、しつこさや粘り強さを持って行動していく中で差別化できると聞き行動するのが大事だと分かりました。

実体験を交えた生々しい公演を聞くことができました。非常にためになる公演でした。

好きな事を好き！！と大声で言えること、どんなに辛い事があっても続けられる信念が大事だと思いました！

自分のしたいこと、目標を明確に持って、行動し続けることが大切だと気づきました。

実際に起業をしているので、自分が想像もしてなかった起業の事実や経験が聞けて、今後の参考にしようと思った。

本報告会全体を通しての感想、印象に残ったこと（自由記述）

たのしかったです！！もっとプレゼン能力をあげ、提案を聞いて貰えるようにしたいです

全国から集まった同い年の子のプレゼンを聞けて、とても楽しかったです！
またこの先のビジネスプランの進化を是非聞きたいのでまた開催してくれると嬉しいです。

他校との意見交換で多くの学ぶことがあったので改善していきたいです！

同じ高校生であっても考えていること大事にしていることに大きな違いがあり、実行している人もいて大きな刺激になりました。

他校との意見交換の機会で私たちでは思いつかない意見を貰えたので今後の活動で参考にしていきたいです。

全国各地から飲み10校と交流できることができてとてもいい機会でした。ありがとうございました。

自分達のプレゼンの改良点、そして他校のプレゼンを聞いてアプローチの仕方が色々あることが知れました。
起業に限らず周りを見る視点を持つという観点でも力を付けることが出来るいい機会になりました！

スタッフさんの対応等も丁寧でリラックスできた状態で発表に臨めました。

日本の中でこれだけの人々が起業について関わっていて交流する機会があるのはとても良いことだなと思いました。
より色々な人の意見やプランを聞きたいなと思いました。

発表は緊張が少なくのびのびできました。

起業に取り組む同じ学生と交流するという貴重な機会をいただきありがとうございました。

起業家教育出前授業実施支援(50校)意識調査(生徒)

本事業における起業家教育出前授業実施支援(50校)意識調査は、実施校50校におけるインターネット調査に関して、その概要と調査結果について記述する。調査対象者の抽出にあたっては、対象生徒に対して2,023件の有効回答を回収した。50校の高等学校名は非公表である。

質問内容については、以下の通りである。

NO.	質問項目
1	学年(高等学校・高等専門学校)
2	性別
3	今回の授業の満足度を教えてください
4	授業前と比べて創業・起業に対する興味に変化はありましたか？
5	今回の授業を受ける前は「創業・起業」に対してどのようなイメージを持っていましたか？（複数回答）
6	今回の授業を受けた後は「創業・起業」に対してどのようなイメージを持ちましたか？（複数回答）
7	授業を受けて新しいモノやアイデアを生み出すチャレンジをしたいと思いましたか？
8	授業を受けて自分自身の意思や考えで何かに取り組んでみたいと思いましたか？
9	授業を受けて地域や社会の課題を自分のアイデアで解決してみたいと思いましたか？
10	現在、あなたの身の回りには起業家・創業者はいますか？
11	今回の授業を受ける前は「起業家」に対してどのようなイメージを持っていましたか（複数回答）
12	授業を受けた後の「起業家」のイメージとして、あてはまるものをお知らせください（複数回答）
13	授業を受けて、起業家・創業者を身近に感じたり親近感を感じますか？
14	今回の授業を受けて身の回りの起業家・創業者を応援したり助けたいと感じますか？
15	起業家の講演をまた聴きたいと思いましたか？

創業に関する意識調査

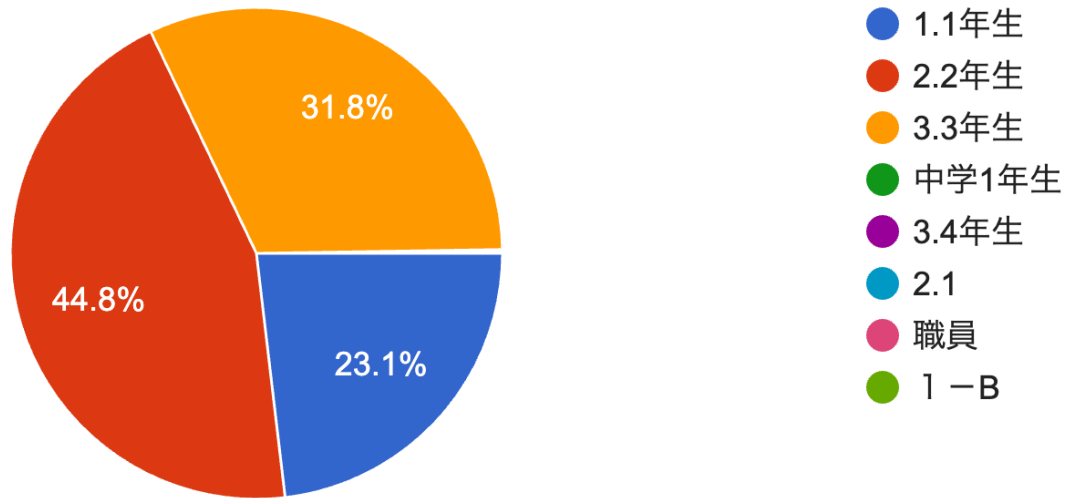
- 起業家教育出前授業を実施した高等学校50校(2,023名)の事後調査として、授業前と比べて創業・起業に対する興味に変化はありましたか？との質問に対して、「**創業・起業に対する興味**」が増したと回答した生徒は**80.4%**となった。

アントレプレナーシップ(起業家精神)に関する意識調査

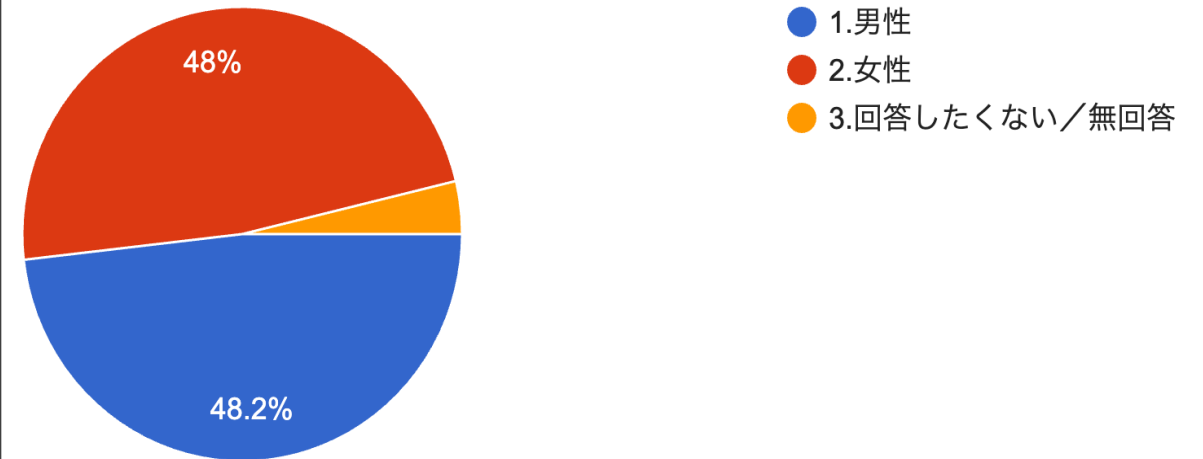
- 起業家教育プログラムを受けて、新しくモノやアイデアを生み出すチャレンジをしたいと思うようになった生徒は**74.9%**、**100人中約75人が起業家精神を養うことが出来た。**
- 起業家教育プログラムを受けて、自分自身の意思や考えで何かに取り組んでみたいと思うようになった生徒は**79.4%**、**100人中約79人が自発的に何かに取り組んでみたい**と思えるようになった。

学年は、2年生(44.8%)、3年生(31.8%)、1年生(23.1%)と、様々な学年からの参加となった。
性別は、女性(48.0%)、男性(48.2%)、無回答(3.8%) の参加となった。

学年(高等学校・高等専門学校) (n = 2023)

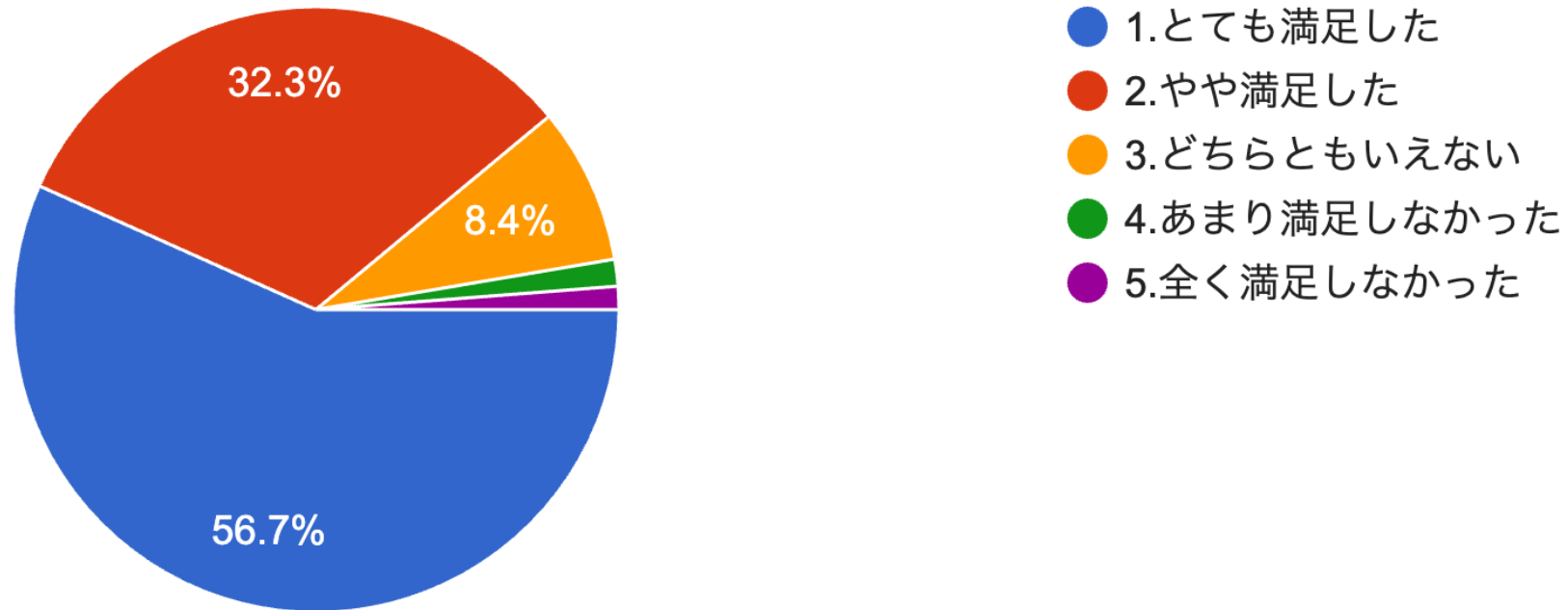


性別 (n = 2023)



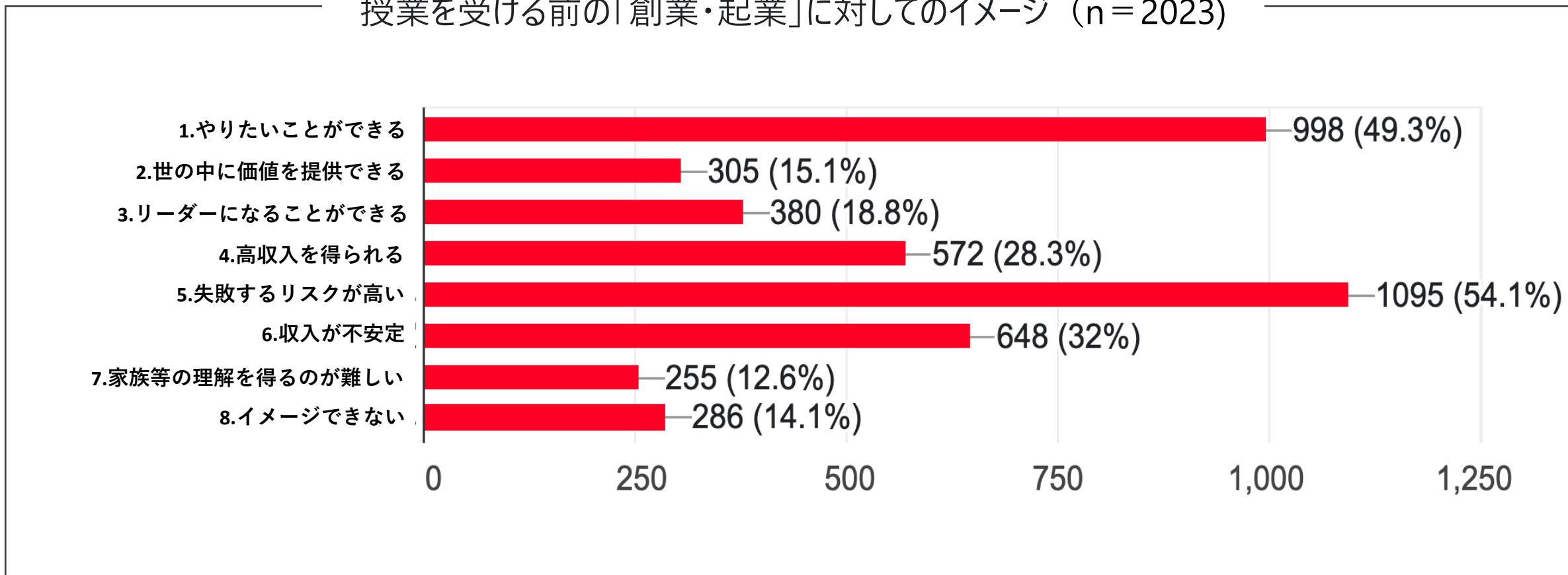
「とても満足した」「やや満足した」生徒が89.0%と、約9割の生徒より満足したとの回答が得られた。

起業家教育出前授業実施支援の満足度
(n = 2023)



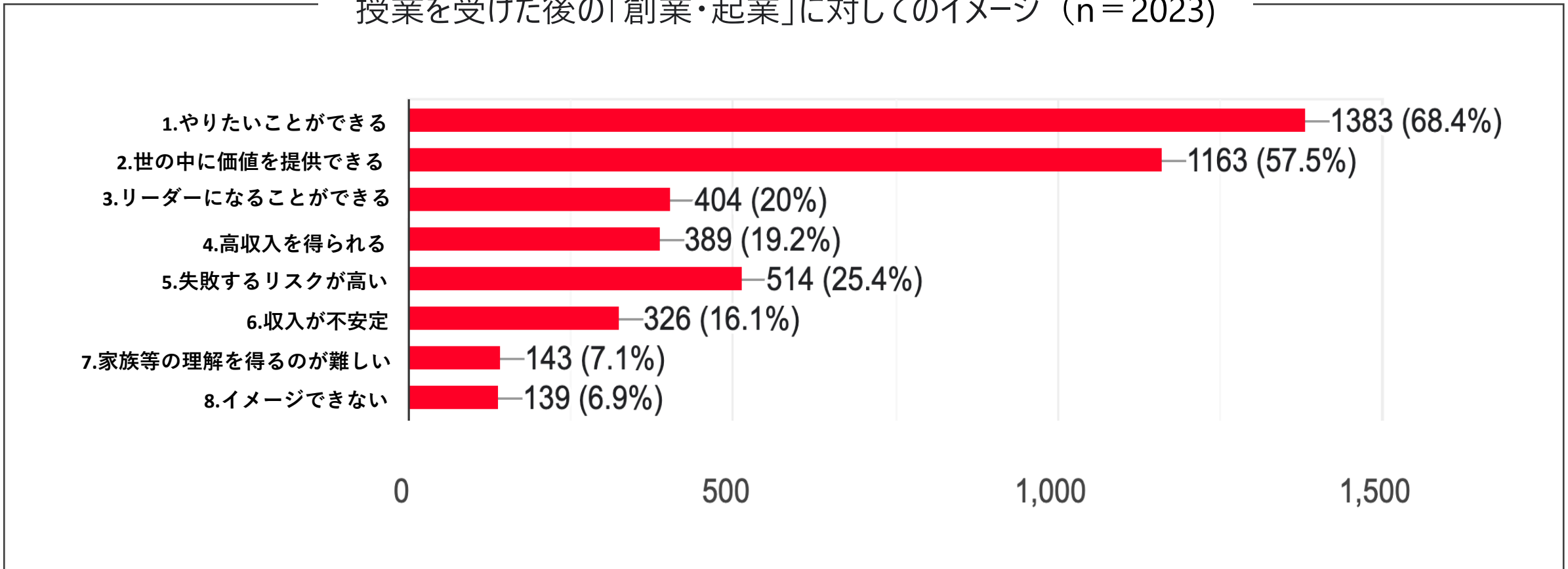
授業を受ける前は、「失敗するリスクが高い」と回答した生徒が54.1%と、失敗するリスクが高いイメージが最も多い回答であった。「やりたいことができる」と回答した生徒が49.3%であった。

授業を受ける前の「創業・起業」に対するイメージ（n = 2023）



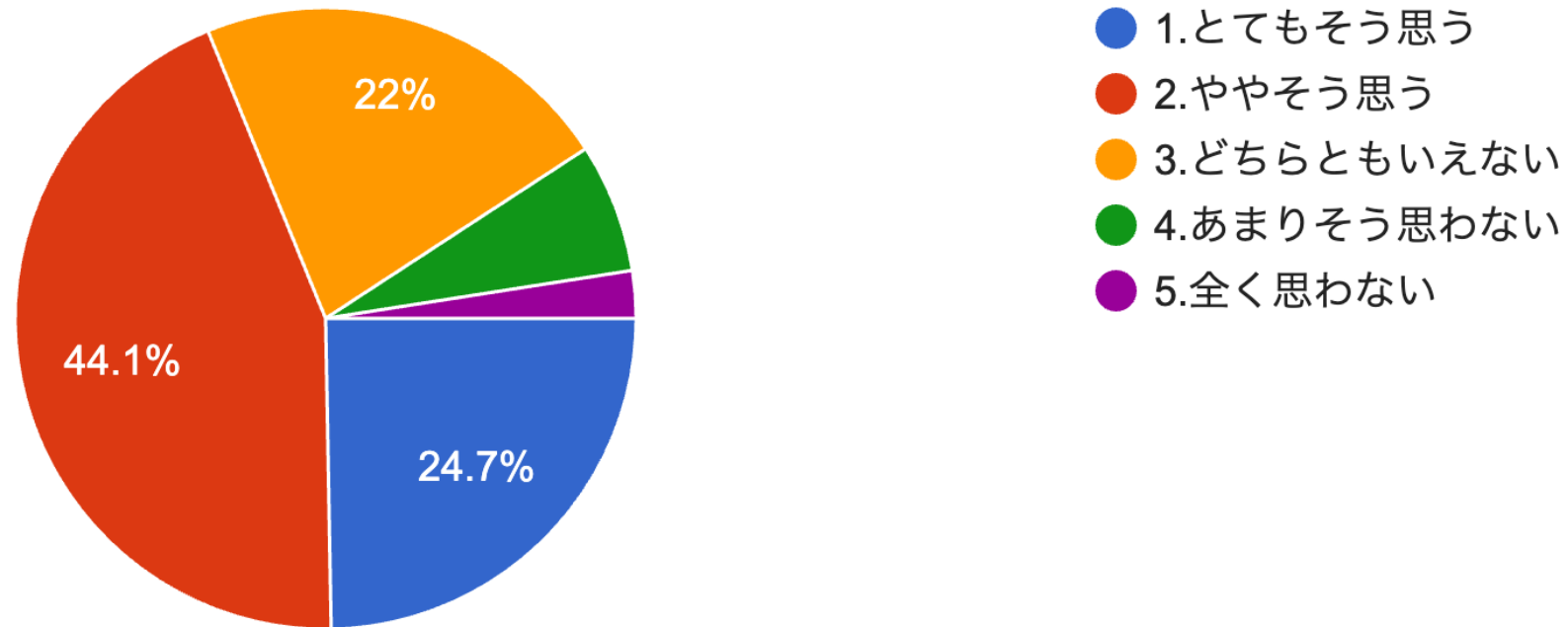
授業を受けた後は、「やりたいことができる」と回答した生徒が68.4%と、自分のやりたいことに挑戦できる=起業というイメージが湧いた生徒が半数以上を超えた。続いて、「世の中に価値を提供できる」と回答した生徒が57.5%。「失敗するリスクが高い」と回答した生徒は、25.4%と、失敗するリスクが高いイメージの払拭にもつなげる回答が得られた。

授業を受けた後の「創業・起業」に対するイメージ（n = 2023）



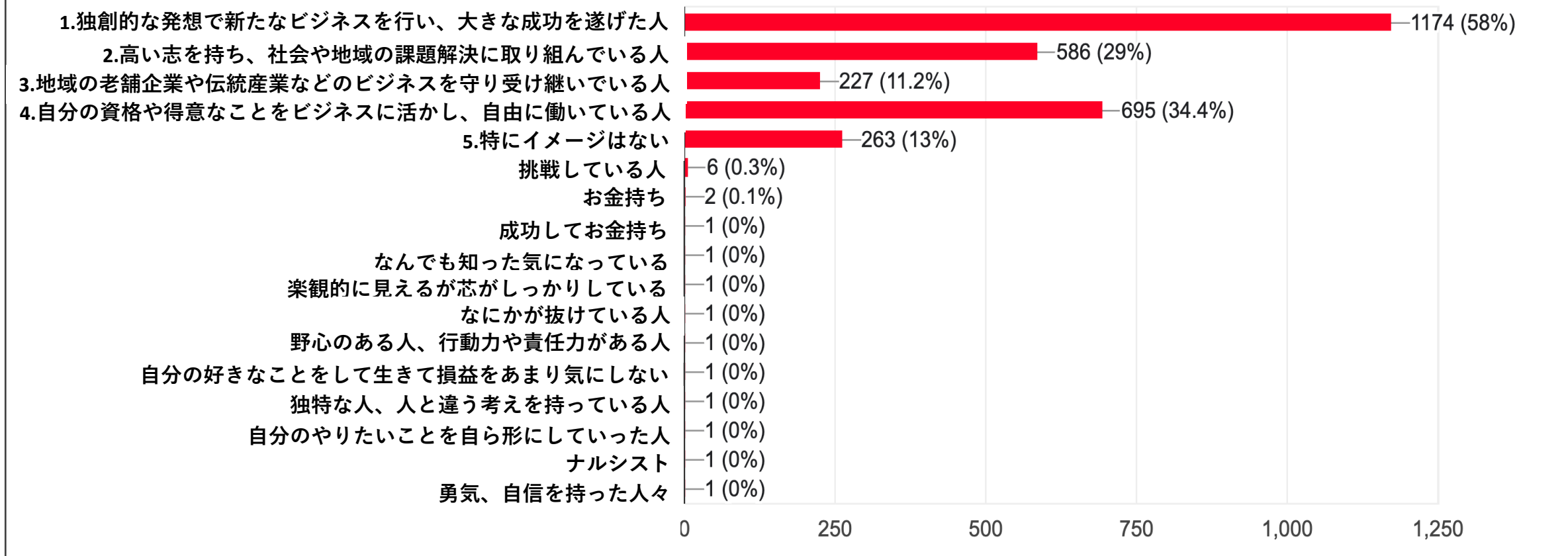
「とても思う」「やや思う」生徒68.9%と、約7割の生徒が出前授業を通して、自分の住む地域や社会課題解決への関心が高まったという回答が得られた。

授業を受けて地域や社会の課題を自分のアイデアで解決してみたいか (n = 2023)



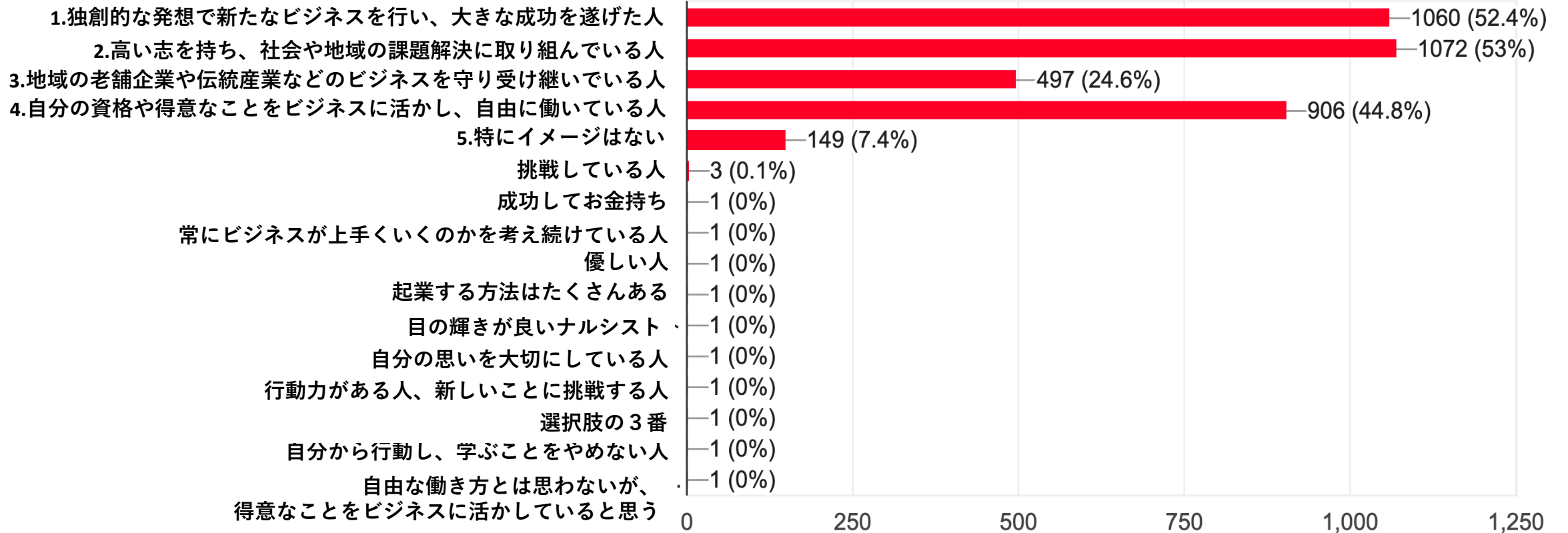
「独創的な発想で新たなビジネスを行い、大きな成功を遂げた人」と回答した生徒が58.0%と半数以上であった。「自分の資格や得意なことをビジネスに活かし、自由な働き方をしている人」と回答した生徒が34.4%であった。

授業を受ける前の「起業家」のイメージ (n = 2023)



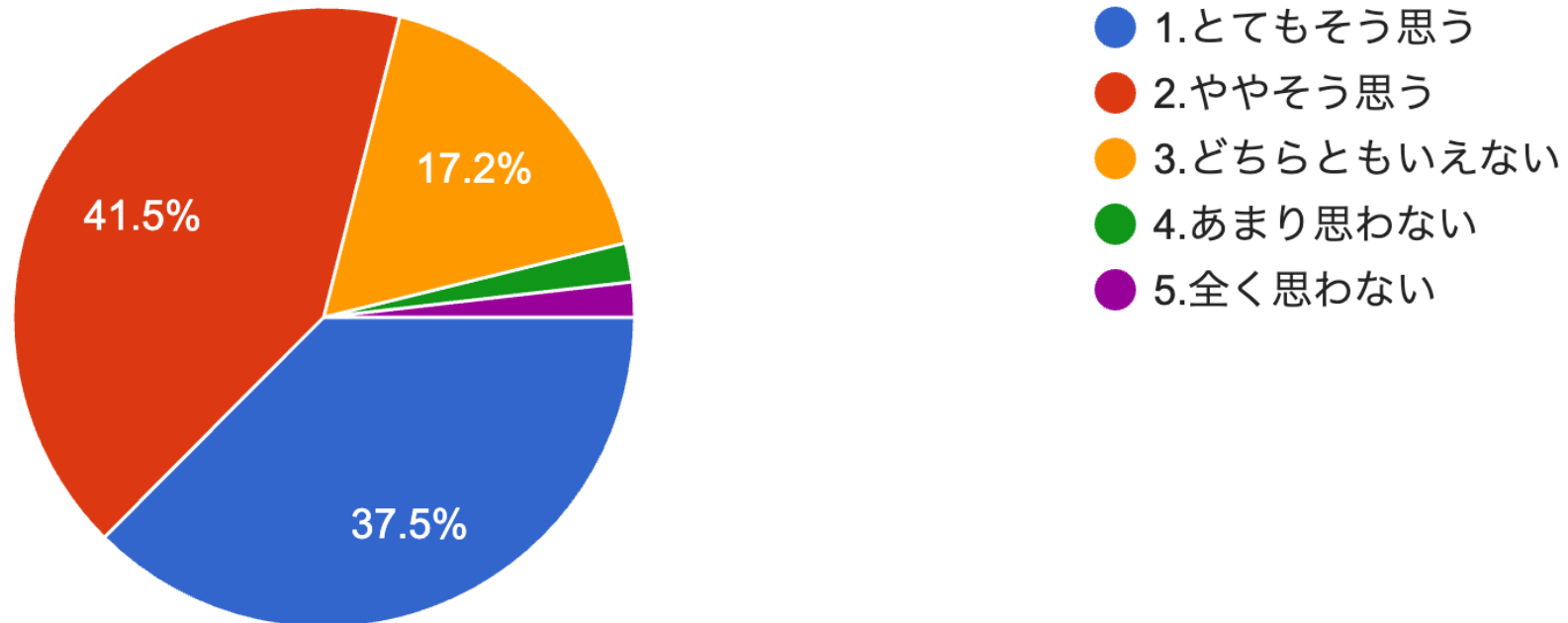
「独創的な発想で新たなビジネスを行い、大きな成功を遂げた人」と回答した生徒が52.4%、「高い志を持ち、社会や地域の課題解決に取り組んでいる人」と回答した生徒が53.0%と半数以上であった。「自分の資格や得意なことをビジネスに活かし、自由な働き方をしている人」と回答した生徒が44.8%であった。

授業を受けた後の「起業家」のイメージ (n = 2023)



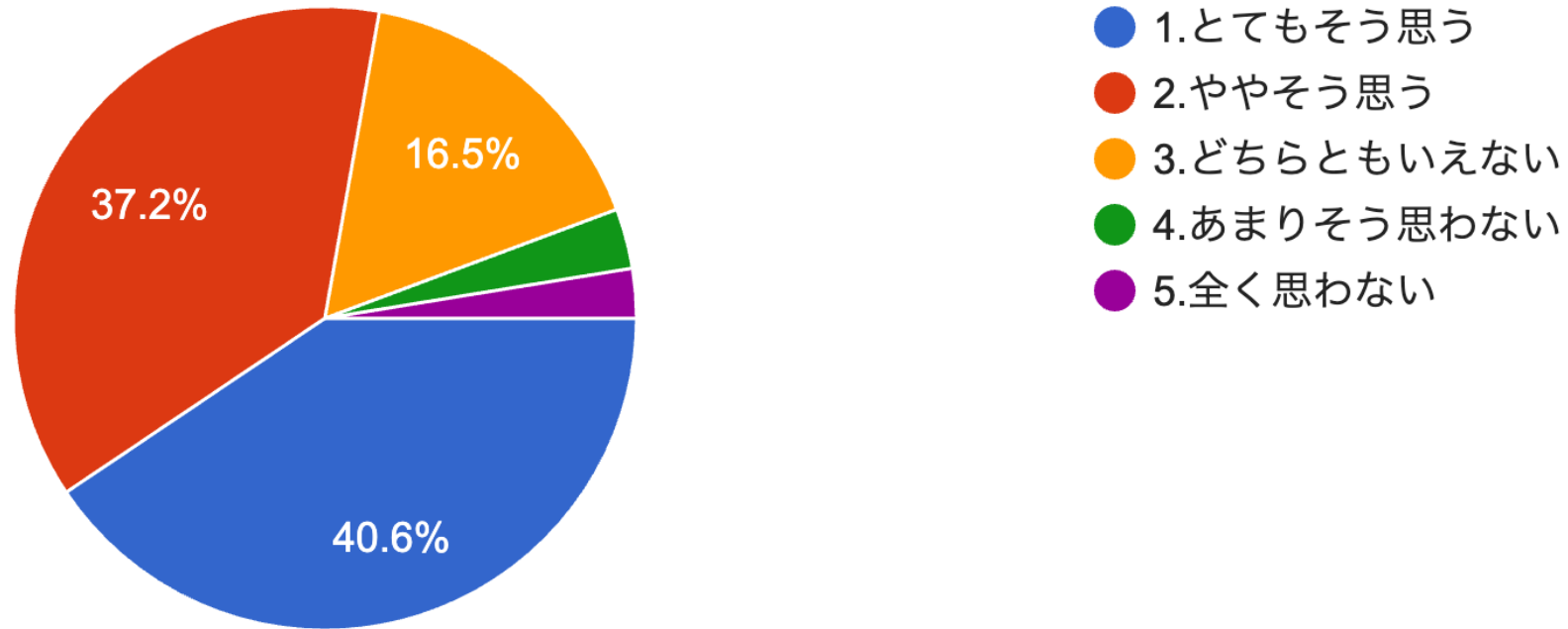
「とても思う」「やや思う」生徒が79.0%と、約8割の生徒が、起業家の参謀(COO、CFO、CTO等)としての関わりや、投資家や応援者として、起業家・創業者を見るようになったという回答が得られた。

授業を受けて身の回りの起業家・創業者を応援したり助けたいと思えるか
(n = 2023)



「とてもそう思う」「ややそう思う」と回答した生徒が77.8%。約8割の生徒より起業家の講演をまた聴きたいといった回答が得られた。

起業家の講演をまた聴きたいか (n = 2023)



起業家教育出前授業実施支援(50校)意識調査(教員)

本事業における起業家教育出前授業実施支援(50校)意識調査は、起業家教育出前授業実施支援校50校におけるインターネット調査に関して、その概要と調査結果について記述する。調査対象者の抽出にあたっては、対象教員に対して50件の有効回答を回収した。50校の高等学校名は非公表である。

質問内容については、以下の通りである。

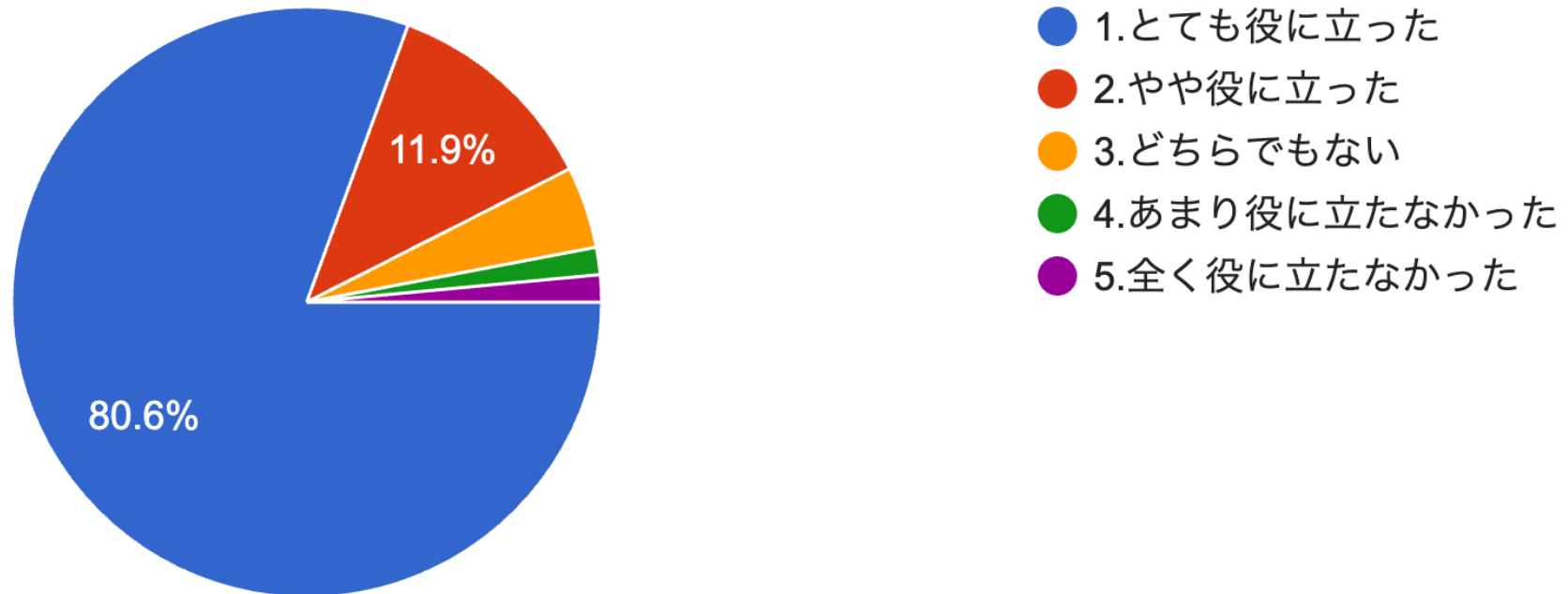
NO.	質問項目
1	今回の起業家教育出前授業の役立ち度をお聞かせください。
2	今回の起業家教育出前授業実施の目的・狙いをお聞かせください（複数回答可）
3	起業家教育出前授業を実施して先生や学校にとって良かったことは何ですか？
4	起業家教育出前授業の実施を通じて生徒にとって良かったことや具体的な変化はどのようなことがありますか？
5	起業家教育出前授業のサポート以外で追加して欲しい内容はありますか？
6	起業家教育の継続的な実施をするにあたって課題となるのはどのようなこととお考えですか？
7	今回の出前授業（起業家教育）について周知・PRを行いましたか？
8	次年度も起業家教育出前授業を実施したいですか？
9	その理由を教えてください。
10	今回の出前授業を経て、学校独自に中長期の起業家教育プログラムを実施してみたいと思いますか？
11	「あまりそう思わない」「全くそう思わない」と回答された方：その理由を教えてください。
12	中小企業庁の起業家教育標準的カリキュラムを次年度以降導入してみたいと思いますか？
13	事務局及び本事業へのご要望・改善点・ご感想・ご意見があればお聞かせください。

起業家教育出前授業実施支援における満足度

- 起業家教育出前授業実施支援を実施した高等学校50校(教員67名)の事後調査として、授業を受けた後の満足度・役立ち度は92.5%であった。
- プログラムを実施後、教員、学校にとって良かった点のコメントを記述する。
 - ・プログラムを実施後、教員、学校にとって良かった点のコメントを記述する。
 - ・学校の教員ではカバーできない内容について生徒が学習できる。
 - ・「起業」が遠い世界のことであるという印象を、少しは払拭できた（のではないかと思う）
 - ・起業についてだけでなく、学習の必要性や専門科の学習の有用性を含んだ講演をいただいた。
 - ・教科書の内容を、実社会の立場からも話して頂けたこと。
 - ・我々教員では教えることが難しい自ら起業すると言ふことの意義や創業者の考え方を学ぶ機会を得ることが出来たこと。また、私自身社長の話聞いてその決断力や行動力を学べたこと。
 - ・起業など、選択肢を多く持つことで自分のやりたいことに近い選択肢を選ぶことができるようになり、勉強へのモチベーションが向上したこと。
 - ・実際に経験されたことを具体的に話していただき、私たちの探究活動の取組みに直結することが多かった。また生徒が進路について考える一助となった。
 - ・これからの時代、既存の職業はなくなったり、新しい職業が生まれてくる。その選択肢の一つとしての考えを持つことができる。
 - ・生徒にとって社会で活躍する様々な人と出会うことで自分の価値観を広げるきっかけになりました。また、閉じた教育現場では生徒に影響を与える・接する大人は「親・教師・塾講師」しかいないので、生徒の考え方も狭くなってしまいます。このような機会によって自分が普段接することがない夢中な大人と出会うことでどんな行動をすればいいか1つの選択肢として良いきっかけになったと思います。

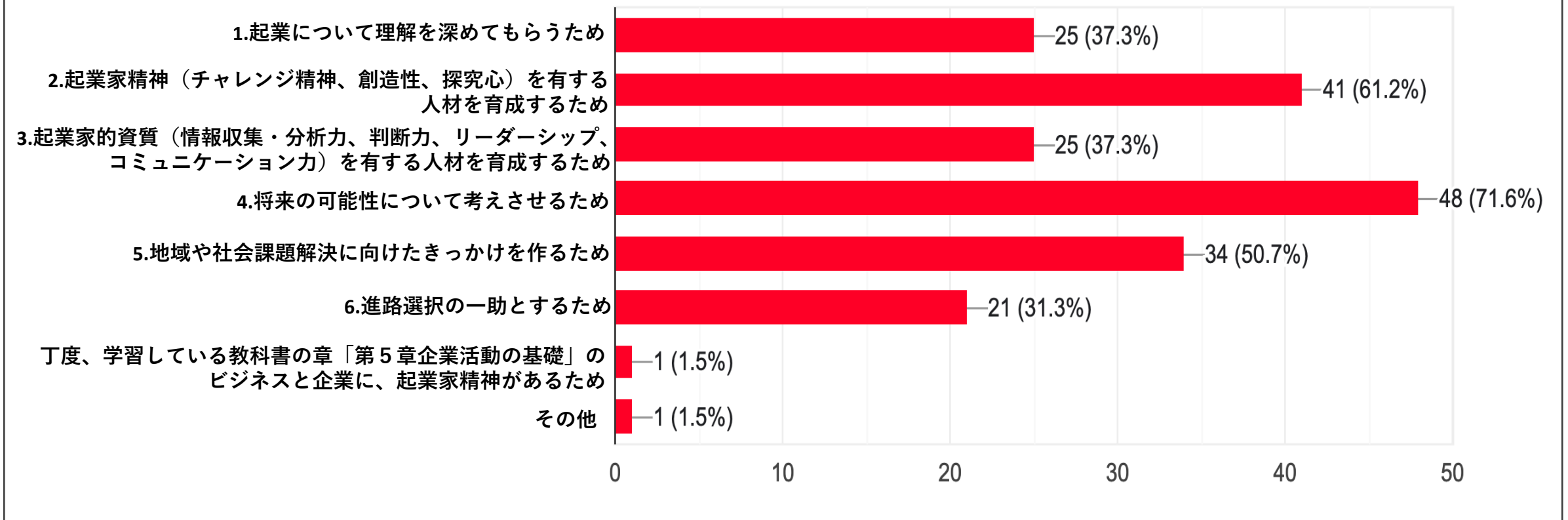
92.5%の教員が、「とても役に立った」「やや役に立った」との回答であった。

起業家教育プログラムの役立ち度 (n = 67)



「将来の可能性について考えさせるため」と回答した教員が71.6%と最も多い回答となった。次いで「起業家精神（チャレンジ精神、創造性、探究心）を有する人材を育成するため」が61.2%、「地域や社会課題解決に向けた取組みについてのきっかけを作るため」が50.7%であった。

起業家教育プログラム実施の目的・狙い (n = 67)



教員では教えることが難しい自ら起業することの意義を、実社会の立場から話して頂けた点が良かったという回答が得られた。

起業家教育プログラムを実施して先生や学校にとって良かったこと (n=67)

- ・プログラムを実施後、教員、学校にとって良かった点のコメントを記述する。
- ・学校の教員ではカバーできない内容について生徒が学習できる。
- ・「起業」が遠い世界のことであるという印象を、少しは払拭できた（のではないかと思う）。
- ・起業についてだけでなく、学習の必要性や専門科の学習の有用性を含んだ講演をいただいた。
- ・教科書の内容を、実社会の立場からも話して頂けたこと
- ・我々教員では教えることが難しい自ら起業すると言うことの意義や創業者の考え方を学ぶ機会を得ることが出来たこと。
また、私自身社長の話を聞いてその決断力や行動力を学べたこと。
- ・起業など、選択肢を多く持つことで自分のやりたいことに近い選択肢を選ぶことができるようになり、勉強へのモチベーションが向上したこと。
- ・実際に経験されたことを具体的に話していただき、私たちの探究活動の取組みに直結することが多かった。
また生徒が進路について考える一助となった。
- ・これからの時代、既存の職業はなくなったり、新しい職業が生まれてくる。その選択肢の一つとしての考えを持つことができる。
- ・生徒にとって社会で活躍する様々な人と出会うことで自分の価値観を広げるきっかけになりました。また、閉じた教育現場では生徒に影響を与える・接する大人は「親・教師・塾講師」しかいないので、生徒の考え方も狭くなってしまいます。このような機会によって自分が普段接することがない夢中な大人と出会うことでどんな行動をすればいいか1つの選択肢として良いきっかけになったと思います。

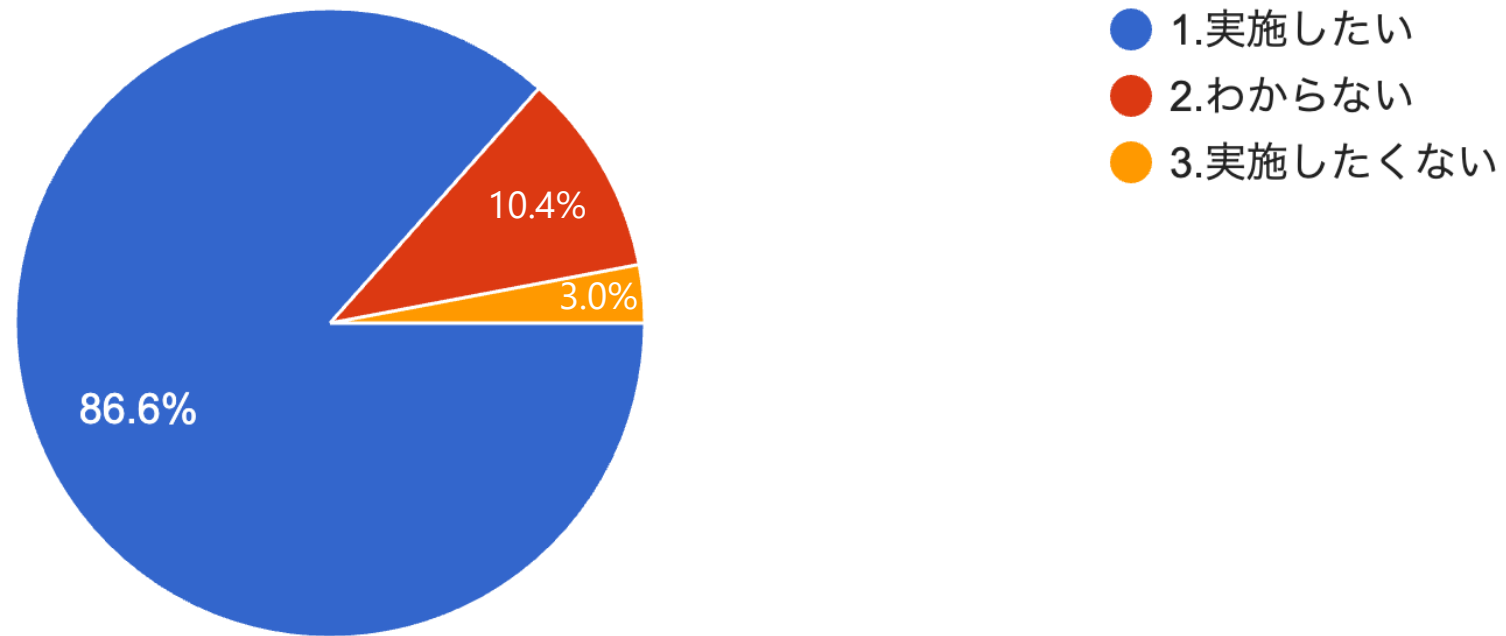
起業家の考え方、働くことの意識、ゼロからイチを生み出すことの大変さを感じることができるという回答が得られた。

起業家教育プログラムを通じて生徒にとって良かったことや具体的な変化 (n = 67)

- ・課題を見極める視点が育ったと感じます。
- ・かなり興味を持っていたのか、どんどん質問をしていた。
- ・起業するしないに係わらず、将来のあり方について考え方を深められたこと
- ・刺激を受け、目標をもって行動するようになったこと。
- ・考え方や挑戦の仕方に関心したことはもちろん、話し方も向上できると知ったこと。
- ・起業に限らず、働くということはどのようなことなのか、人とのつながりに感謝して大切にすることが重要だ、ということなどを生徒が学ぶことができた。
- ・熱意あるお話を聞いたことで、心が動かされた生徒が何名もいました。土井社長のチャレンジ精神と行動力に感銘を受けていました。
- ・些細なアイデアからでも社会に影響を及ぼすことができるかもしれないという可能性に気づいた。
- ・「一般企業へ就職」という選択肢以外に「起業家」という選択肢を増やすことができた。
就職、進学以外の進路の可能性を考えさせることができた。
- ・好きなことの先に自分の生き方があることを考えさせることができた。
- ・ゼロからイチを生み出すことがいかに大変なことかということが身をもって理解できたこと。

次年度も起業家教育を「実施したい」と回答した教員が86.6%であった。

次年度の起業家教育の実施意向 (n = 67)



普段の学校生活では起業に意識を向けるきっかけがほぼないため、これからの時代を生きるためにアントレプレナーシップを醸成したいや起業家講師の満足度の高さ等の理由で、実施意向の回答が得られた。

次年度の起業家教育の実施意向の理由について (n = 67)

- ・起業家教育は、VUCAの時代に必要な考え方が養えると考えます。
- ・今回がとても良かったから。
- ・生徒たちの反応がよく、変化していく姿を見ることが出来たから。
- ・アントレプレナーシッププログラムは今後さらに必要性が高まると感じているので、このような機会は積極的に活用したい。
- ・今回紹介いただいた方が大変素晴らしく、また生徒の目線に立って話をしていただいたため
- ・これからの時代は、大学を卒業して定年まで働くという概念が大きく変わる時代。その時代を乗り切るために、起業家マインドは必須
- ・いつもSNSについての講話などばかりで偏りがあるから
- ・在学中に1度は起業家出前授業を経験させたい。今年度は2つの学年が実施できたので、隔年で実施でも良いが、人数による。
- ・起業家教育を年間の総合的な探究の時間でプログラムしていくためです
- ・動画で見ると実際に目の前にいる人から話を聞くのでは、話の入り方が全然違う。
起業という選択肢を持つことは自分の選択肢を増やすことになることをこれからもこういった講演会を通じて伝えていきたい。
- ・チャレンジしている素敵な大人の話聞けるのは貴重な機会であるから。
- ・2年連続で実施させていただき、2年とも非常に良かった。
- ・普段の学校生活では起業に意識を向けるきっかけがほぼないため。
- ・自分で生きていく力を身につけさせたい。そのために自分の好きや得意を見つめ直す機会にしたい。

支援の御礼、事務局の熱意への評価、非常に丁寧にコーディネートしていただいた点の評価など、ポジティブな回答が得られた。

次年度の起業家教育の実施意向の理由について (n = 67)

- ・今回、初めての授業でしたが大変お世話になりました。実施して大変良かったと思います。
- ・中小機構の他事業など今後もお世話になります。よろしくお願いします。
- ・学生にとっては大変良い機会でした。ありがとうございます。
- ・一年間本当にありがとうございました。機構の方がとても熱心でこちらもやる気になりました。今後ともよろしくお願いいたします。
- ・事務局には非常に丁寧にコーディネートしていただき、大変に助かりました。感謝しかありません。
- ・今回の講師の方は、地方で活躍されている方で、地方での起業の経験を話していただき、たいへんわかりやすく地元に向けたきっかけにもなった。本校に適した講師を選出していただき、感謝いたします。
- ・起業家教育授業を昨年度に続き受けさせていただきました。生徒に対しこのような授業をサポートしていただき感謝しております。来年度も引き続きお願いいたします。
- ・いつもお世話になって感謝しております。今後は、起業家教育のプログラムについて実践してみたいの提案や相談を続けていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。
- ・この度はご支援ありがとうございました。これを足がかりに足がかりに、行政も含め連携できる体制も模索したいと考えています
- ・起業家にとっては直接消費者としてのフィードバックが得られて、学校（生徒）にとってもよい学びの機会が得られる場となるよう、こういった活動がもっと広がるよう支援をしてもらえるとよいと考えます。
- ・県内の商業高校に広めるのであれば、実施に当たり、関係校に紹介・見学や相談会を実施してみたいはいかがでしょうか。
- ・事務局の方々にはとても丁寧に対応していただきました。ありがとうございました。